3-992-604-**03** (1)

SONY

Data Projector

取扱説明書 ２ページ JP

Operating Instructions Page 42 GB

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- 付属の CD-ROM には、SRX-S110/SRX-S105 の取扱説明書（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語）が記録されています。詳しくは、８ページの「CD-ROM マニュアルの使いかた」をご覧ください。
- The supplied CD-ROM includes the Operating Instructions for the SRX-S110/SRX-S105 (English, Japanese, French, German, Italian, Spanish and Chinese versions).
For more details, see “Using the CD-ROM Manual” on page 47.

SRX-S110
SRX-S105

© 2006 Sony Corporation

この説明書は、100%古紙再生紙を使用しています。
Printed on 100% recycled paper.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.net/

Printed in Japan

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5 ページから 6 ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

1 年に一度は、内部の点検をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

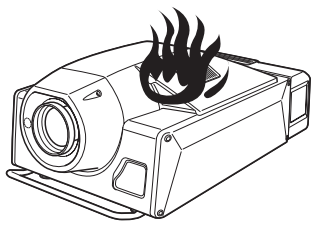
万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

⬇

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

煙が出たら



⬇

すぐに電源を切り、消火する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

目次

警告 **5**
注意 **6**
電池についての安全上のご注意 **6**

第 1 章　概要

本機の特長 **7**
CD-ROM マニュアルの使いかた **8**
準備 8
CD-ROM マニュアルを読むには 8
各部の名称と働き **9**
本体 9
Control Function Menu（コントロールファンクションメニュー）画面 10
リモートコマンダー 12

JP

第 2 章　準備

設置・使用時のご注意 **14**
設置に適さない場所 14
使用に適さない状態 15
設置する **15**
キャリングハンドルの使いかた 15
アジャスターの使いかた 15
プロジェクターの設置方法 16
SRX Controller をコントロール用コンピューターにインストールする **16**
動作環境 16
SRX Controller をインストールする 16
コントロール用コンピューターを接続する **18**
ETHERNET 端子経由で接続する 18
RS232C 端子経由で接続する 18
SRX Controller を起動する **19**
起動するには 19
接続モードを変更する 20
投影する機器を接続する **20**
コンピューターを接続する（DVI-D 接続の場合） 20
コンピューターを接続する（アナログ RGB 接続の場合） 21
HD-SDI 機器を接続する 21
コンポーネント機器を接続する 22

第 3 章　投影

スクリーンに画像を映す 23
リモートコマンダーで操作する 23
コンピューターで操作する 24

第 4 章　SRX Controller で行う調整と設定

コントロール画面を表示する 27
PICTURE CONTROL（ピクチャーコントロール）画面 28
Board（インプットボード） 28
Input Source（入力ソース） 28
Signal Info（信号情報） 29
Signal Adjust（信号調整） 29
COLOR/FRAME（カラー／フレーム）画面 30
Board（インプットボード） 30
Color（カラー） 30
Frame Adjust（フレーム調整） 30
INSTALLATION（設置設定）画面 31
LENS CONTROL（レンズコントロール） 31
ELECTRIC V SHIFT FUNCTION（垂直シフト機能） 31
SQUEEZE（スクイーズ） 32
PROGRESSIVE DISPLAY MODE
（プログレッシブディスプレイモード） 32
LAMP POWER（ランプパワー） 32
INSTALLATION（設置） 32
LAMP SELECT（ランプ選択） 32
TEST PATTERN（テストパターン） 32
入力信号と調整・設定項目 33

第 5 章　その他

ランプ交換の目安 34
故障かな？と思ったら 35
エラーメッセージ 36
本機の性能を保持するために 37
保証書とアフターサービス 37
仕様 38
索引 41

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、
火災や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

禁止

油煙、湯気、湿気、埃の多い所で使用しない

上記のような場所や、取扱説明書に記されている使用条件以外の環境で使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

指示

規定の電源電圧で使用する

取扱説明書に記されている電源電圧以外での使用は火災や感電の原因となります。

禁止

排気口の近くに立ち止まらない

排気口の近くに立ち止まると、ランプが破裂したときに破片によりけがをする場合があります。

禁止

排気口付近は触らない

排気口付近は、ランプの熱で温度が高く、手などが触れるとやけどの原因となります。

禁止

レンズをのぞかない

投影中にプジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

禁止

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から１m 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。
- プジェクターの下に布や紙を敷かない。

指示

機器周囲温度を仕様に合うように制御する

取扱説明書に記されている機器周囲温度外で使用すると、ランプの破裂や故障の原因となります。

指示

ランプはアラームが出たら交換する

ランプは劣化したまま使用すると、ランプ破裂の原因となります。ランプ交換のアラームが出たら交換してください。

指示

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に一度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

⚠注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を
与えることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

手を挟まれないよう注意

レンズシフト動作時に指を挟まない

レンズシフト動作時にレンズカバー内側に指を入れると、指を挟むことがありますのでご注意ください。

指示

重い製品の運搬は 4 人以上で行う

重量のある機器の開梱・運搬はけがを防ぐため、必ず 4 人以上で行ってください。

指示

メンテナンスは電源を切ってから行う

電源を接続したままお手入れをすると感電の危険があります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

- 電池の液が目に入ったら
  すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣類に付いたら
  すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら
  よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

⚠警告

- 機器の表示にあわせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使用しない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠注意

- 外装のチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

概要

第1章

本機の特長

高輝度・高画質映像

高輝度

2 kW 2灯（SRX-S110）、1 kW 2灯（SRX-S105）の小型キセノンランプを装備、10,000ANSI ルーメン（SRX-S110）、5,000ANSI ルーメン（SRX-S105）の均一で高輝度な映像を再現できます。

高解像度

ソニーが新規開発した高精細 SXRD^{TM}（Silicon X-tal Reflective Display）パネルを 3 枚使用し、ハイビジョン信号の 4 倍、4096 × 2160 ピクセル、約 885 万画素の高解像度を実現しました。

高解像度マルチディスプレイ

最大 4 画面までのマルチディスプレイが可能。分割した画面それぞれにもハイビジョン信号の解像度で表示できます。また、分割画面それぞれに別々の入力映像を表示でき、画面ごとの調整が可能です。

ハイコントラスト

SXRD パネル自体の明るさに加え、3PBS 光学システムの採用により、1800:1 以上の高いコントラスト比を実現しました。

ガンマ補正機能

入力信号に合わせて 3 種類（1.8、2.2、2.6）のガンマ補正モードが選べ、最適な輝度で投影できます。

カラースペース機能

入力信号ソースに合わせて色再現範囲を変えるカラースペース機能を搭載。709、DCDM、CIEXYZ の規格に対応し、高い色再現が可能です。

スクイーズ機能

4：3 の画枠の信号を 16：9 に、16：9 の画枠の信号を 2.39：1 に拡大して表示します。（信号によっては、拡大されない場合もあります。）
この機能は、全画面モードでのみ有効です。

柔軟で信頼性の高いシステム

2 灯ランプシステム

様々な用途に対応するため、キセノンランプ 2 灯のうち 1 灯のみを使用するモードや投影時のランプ出力を下げて使用するモードが選べ、ランプの使用時間を長くすることができます。また、ランプに不測の事態が生じた場合、1 灯で投影を続けることができます。

多様な用途に対応

DVI-D 入力端子を標準装備

標準装備で DVI-D 信号が受信可能です。コンピューターなどからの DVI-D 信号を入力して、シミュレーションや大規模プレゼンテーションのための映像を本機単独で映すことができます。

多様な入力信号に対応

RS-232C 端子、イーサーネット端子を装備、また入力端子部には別売りのアナログ信号対応インプットボードや HD-SDI 信号対応インプットボード、DVI-D 信号対応インターフェースボードを装着でき、多様な映像ソースに対応できます。

オプションレンズ

投射距離に応じて選べるプロジェクションレンズをオプションで用意。レンズシフト機能により、多様な設置条件に対応できます。ズーム / フォーカスメモリー機能付きのオプションレンズを取り付けると、スクリーンサイズに合わせてズーム位置を調整し投影サイズを決定したあと、本機に登録することができます。この機能により、アスペクト比 4:3 や 16:9 の画面でのズーム位置をそれぞれ登録しておくと、SRX Controller の画面で簡単に切り換えることができます。

CD-ROM マニュアルの使いかた

付属の CD-ROM には、本機の取扱説明書（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語）が PDF 形式で記録されています。

準備

付属の CD-ROM に収納されている取扱説明書をご覧いただくためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

- Adobe Reader 6.0 以上

メモ

Adobe Reader がインストールされていない場合は、下記 URL よりダウンロードできます。
http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html

Adobe、および Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

CD-ROM マニュアルを読むには

CD-ROM に入っている取扱説明書を読むには、次のようにします。

1 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザで表示されます。
ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っている index.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2 読みたい取扱説明書を選択してクリックする。

取扱説明書の PDF ファイルが開きます。

メモ

Acrobat Reader のバージョンによって、ファイルが正しく表示されないことがあります。
正しく表示されない場合は、「準備」の項の URL より最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

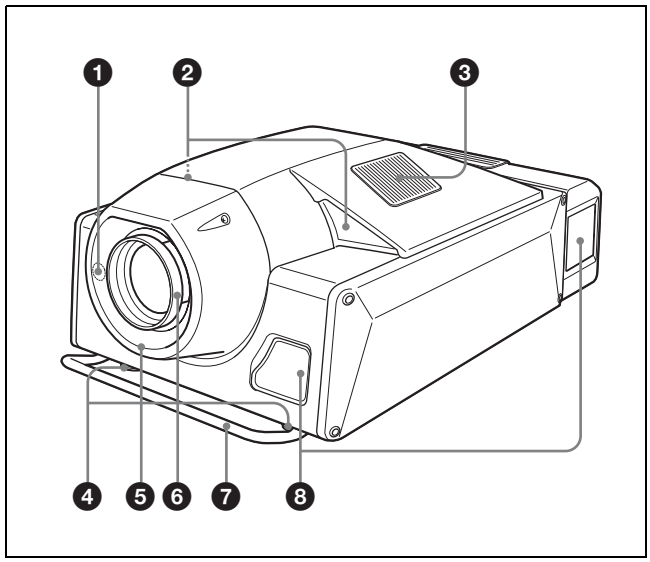
ご注意

CD-ROM が破損または紛失したため、新しい CD-ROM をご希望の場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

各部の名称と働き

本体

前面 / 上面



❶ リモコン受光部（前面）

❷ 吸気口（上面）

❸ 排気口（上面）

❹ アジャスター
プロジェクターを設置する場所が水平でない場合、プロジェクターが水平になるように調整します。

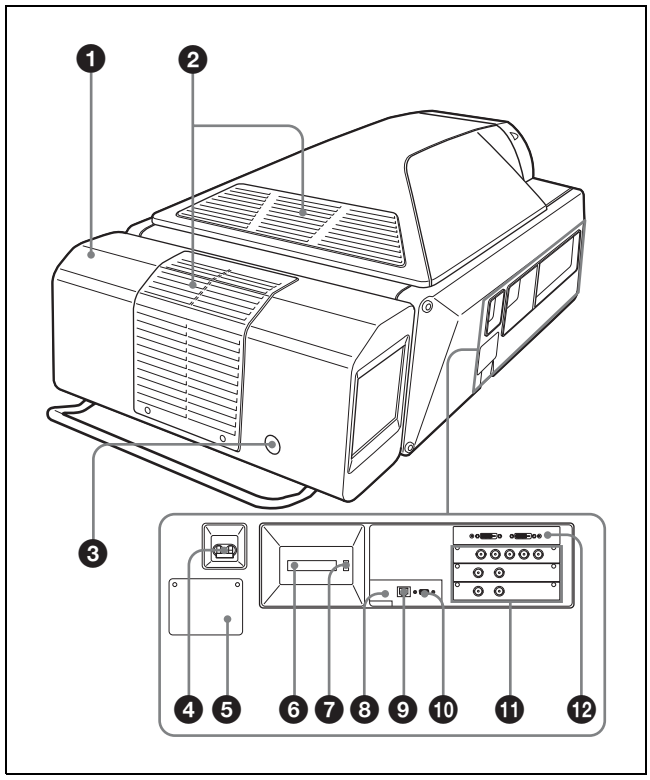
❺ レンズカバー

❻ レンズ取り付け部
別売りのレンズを取り付けるときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

❼ キャリングハンドル
プロジェクターを持ち運ぶとき使用します。キャリングハンドルは後面にもあります。

❽ 吸気口（前面 / 右側面）

左側面 / 後面



❶ クーリングユニット
冷却ファンとランプハウス 2 個（別売り）が収納されています。
ランプハウスの取り付けや交換の際は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

❷ 排気口（上面 / 後面）

❸ リモコン受光部（後面）

❹ 電源スイッチ
主電源を入り / 切りします。

❺ AC IN 端子台
3 芯の電源コードを接続します。接続はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

❻ STATUS MESSAGE（ステータスメッセージ）表示窓
エラーメッセージを表示します。
表示された場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

❼ STATUS LAMP（ステータスランプ）
本機がスタンバイ状態のとき、赤色に点灯します。電源が入ると緑色に点灯します。コンピューター画面の POWER STANDBY ⏻ ボタンまたはリモートコマンダーの ⏻ ボタンで電源を切ったあとの約 10 分間点滅します。点滅中は、本体内部の温度を下げるためファンが回り続けます。

❽ インターロック端子

非常時用の外部スイッチと接続します。
インターロック機能を使用する場合、ミニジャックを挿入し、+ と − を open にするとプロジェクターのランプが緊急オフします。ご使用にならないときは、ミニジャックを挿入しないでください。

❾ ETHERNET（イーサネット）端子（10BASE-T/100BASE-TX）

付属の SRX Controller（SRX コントローラー）をインストールしたコンピューターのイーサネット端子と接続します。コンピューターから本機を操作できます。

❿ RS232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）

付属の SRX Controller（SRX コントローラー）をインストールしたコンピューターのコネクターと接続します。コンピューターから本機を操作できます。

⓫ インプットボード取り付け部

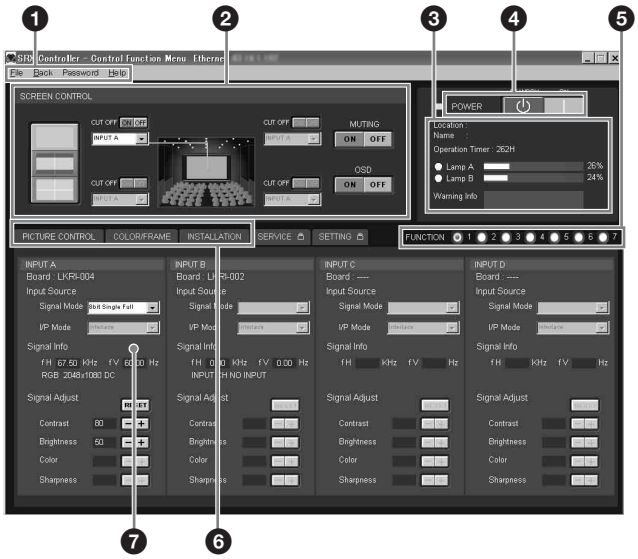
用途に応じ、別売りのインプットボードを取り付けます。取り付けるときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。
上から順に INPUT B、INPUT C、INPUT D となります。

⓬ INPUT A（DVI インターフェースボード、標準装備）

DVI-D 端子（DVI コネクター 24 ピン、凸）：プログレッシブの DVI 信号を入力します。
AUX 端子（DVI コネクター 24 ピン、凸）：拡張信号入力用です。対応機器については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

Control Function Menu（コントロールファンクションメニュー）画面

付属の SRX Controller（SRX コントローラー）をコンピューターにインストールすると、本機の操作をコンピューターの画面で行うことができます。ここでは、スクリーンに画像を投影するために表示する画面について説明します。画質の調整や設定の変更を行う画面については「SRX Controller で行う調整と設定」（27 ページ）をご覧ください。



❶ メニューバー

File（ファイル）メニュー

File メニューから [Quit] を選択すると SRX Controller を終了します。

Back（戻る）メニュー

SRX Controller の「Browser Screen（ブラウザースクリーン）」画面に戻ります。

Password（パスワード）メニュー

プロジェクターの設定を行う「SETTING（設定）」画面やサービス担当者が調整を行う「SERVICE（サービス）」画面を表示する際に必要な認証用パスワードをリセットします。
このメニューは、お使いのコンピューターで Administrator（管理者）権限を持つユーザーが SRX Controller を起動した場合のみ表示されます。

◆「SETTING（設定）」画面、「SERVICE（サービス）」画面について詳しくは、特約店様用設置説明書をご覧ください。

Help（ヘルプ）メニュー

SRX Controller のバージョン情報および本機のシリアル番号を表示します。

❷ SCREEN CONTROL（スクリーンコントロール画面）

◆ 詳しくは「SCREEN CONTROL（スクリーンコントロール）画面」（11 ページ）をご覧ください。

❸ 情報表示部

[Location]：設置時に、「SETTING（設定）」画面で入力した本機の設置場所を表示します。

[Name]：設置時に、「SETTING（設定）」画面で入力した本機の名前を表示します。

[Operation Timer]：プロジェクターの累積使用時間を表示します。

[LampA/LampB]：プロジェクターのランプ 2 灯それぞれの交換時期に対する使用割合を表示します。左側のインジケーターが点灯しているランプが現在点灯しています。インジケーターが消灯しているランプは点灯していません。

[Warning Info]：本機に不具合が生じた場合エラーメッセージを表示します。本体左側面の STATUS MESSAGE 表示窓にも同じエラーメッセージが表示されます。

❹ POWER ON/STANDBY （I/⏻）（電源入 / スタンバイ）ボタンと POWER インジケーター

ランプを点灯させるとき ON ボタンをクリックします。インジケーターが緑色に点灯します。STANDBY ボタンをクリックし、表示される確認画面で [OK] ボタンをクリックするとスタンバイ状態になり、インジケーターが点滅します。スタンバイ状態になっても本体内部の温度を下げるためファンが回り続けます。ファンが止まるとインジケーターが赤く点灯します。

❺ FUNCTION（ファンクション）1 ～ 7 ラジオボタン

SRX Controller の画面で調整・設定した内容をこれらのボタンに登録し、あとで登録した設定内容で投影することができます。

登録できる設定項目は以下のとおりです。

- SCREEN CONTROL 画面のスクリーンモードと入力信号選択
- PICTURE CONTROL 画面の [Input Source] と [Signal Adjust] の設定
- COLOR/FRAME 画面の [Color] の設定
- INSTALLATION 画面の [ELECTRIC V SHIFT FUNCTION]、[SQUEEZE]、[PROGRESSIVE DISPLAY MODE]、[LAMP POWER]、[LAMP SELECT] の各項目、およびズーム / フォーカスメモリー機能付きレンズ装着時の [LENS CONTROL] の設定

◆ 詳しくは、27 ページをご覧ください。

❻ 画面切り換えボタン

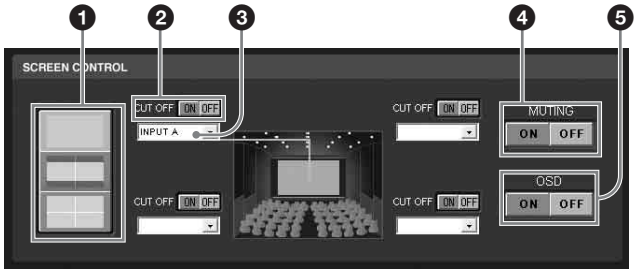
調整・設定したい項目に応じて画面を切り換えます。

❼ 調整・設定画面

画面切り換えボタンをクリックするとそれぞれの画面が表示されます。「PICTURE CONTROL（ピクチャーコントロール）」画面、「COLOR/FRAME（カラー / フレーム）」画面、「INSTALLATION（設置設定）」画面を表示できます。

◆ それぞれの画面について詳しくは、「SRX Controller で行う調整と設定」（27 ページ）をご覧ください。

SCREEN CONTROL（スクリーンコントロール）画面



❶ スクリーンモード選択ボタン

スクリーンに投影する映像を全画面表示にするか、2 画面表示あるいは 4 画面表示にするかを選択します。それぞれ、 （全画面）、 （2 画面）、 （4 画面）ボタンをクリックします。

❷ CUT OFF（カットオフ）ON/OFF ボタン

投影画像を一時的に消したいとき ON ボタンをクリックします。OFF ボタンで画像を表示します。

スクリーンモード選択ボタン（❶）で選択したスクリーンモードに応じて入力選択の画面が変わり、分割された画面ごとに操作できます。

❸ 入力信号選択ドロップダウンリストボックス

スクリーンに投影したい映像ソースを選びます。スクリーンモード選択ボタン（❶）で選択したスクリーンモードに応じて入力選択の画面が変わり、分割された画面ごとに操作できます。

INPUT A：INPUT A の DVI-D 端子に接続した機器からの映像を映すとき。

INPUT B：INPUT B に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

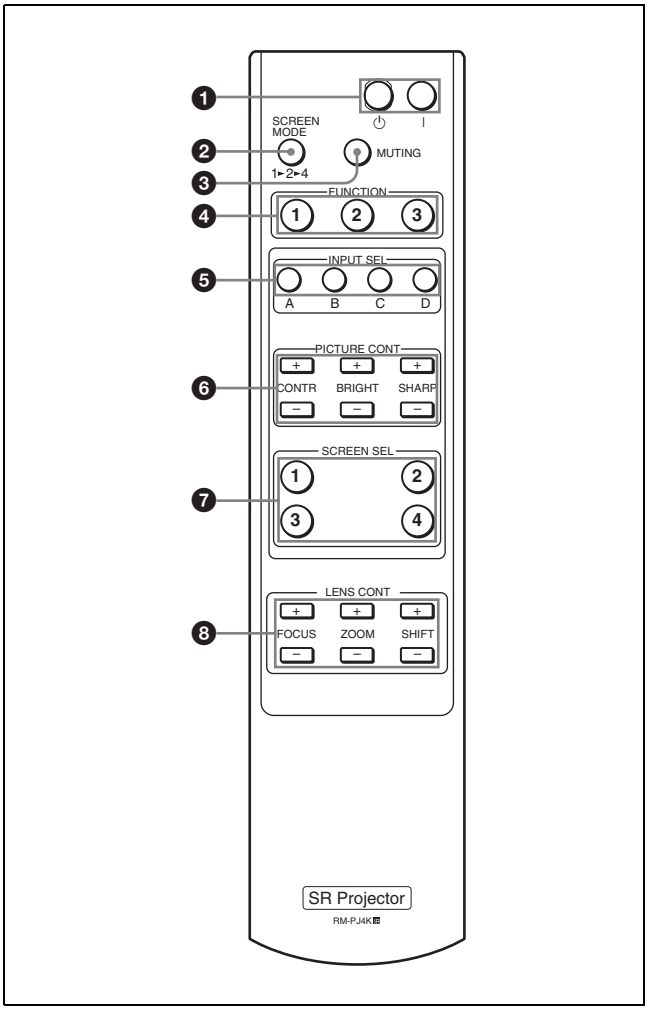
INPUT C：INPUT C に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

INPUT D：INPUT D に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

❹ MUTING（ミューティング）ON/OFF ボタン
ON ボタンをクリックすると、スクリーンの投影画像全体を一時的に消します。OFF ボタンで映像を表示します。ミューティング機能は、シャッターを併用して光を完全に遮断し、黒画面を表示します。

❺ OSD（画面表示）ON/OFF ボタン
スクリーンに画面表示を出すとき ON ボタンをクリックします。画面表示を出したくないとき OFF ボタンをクリックします。
このボタンによる設定は、リモートコマンダーでの操作時にも有効です。

リモートコマンダー



❶ I/⏻（電源入 / スタンバイ）ボタン
I：本体の電源を入れるとき押します。
⏻：本体をスタンバイ状態にするとき押します。

❷ SCREEN MODE（スクリーンモード）ボタン
スクリーンに投影する映像を、全画面表示にするか、2 画面表示または 4 画面表示にするかを選択します。押すたびにスクリーンモードが全画面、2 画面、4 画面の順に切り換わります。

❸ MUTING（ミューティング）ボタン
投影画像を一時的に消すとき押します。もう一度押すと映像が表示されます。ミューティング機能は、シャッターを併用して光を完全に遮断し、黒画面を表示します。

❹ FUNCTION（ファンクション）1/2/3 ボタン
SRX Controller の FUNCTION 機能と同期させて使用します。SRX Controller で設定した内容を呼び出すことができます。ただし、SRX Controller で FUNCTION4 ～ 7 に登録した設定は呼び出すことができません。

❺ INPUT SEL（入力選択）ボタン

投影または操作したい映像ソースを選びます。

A：INPUT A の DVI-D 端子に接続した機器からの映像を映すとき。

B：INPUT B に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

C：INPUT C に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

D：INPUT D に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

これらのボタンは PICTURE CONT ボタン（❻）または SCREEN SEL ボタン（❼）と併用してご使用ください。

例：INPUT A からの信号のコントラストを強くする場合、INPUT SEL A ボタンを押してから CONTR+ ボタンを押す。

❻ PICTURE CONT（ピクチャーコントロール）ボタン

投影した映像の画質を調整します。

CONTR ＋ / －：コントラストを調整します。+ ボタンを押すとコントラストが強くなり、− ボタンを押すとコントラストが弱くなります。

BRIGHT ＋ / －：明るさを調整します。+ ボタンを押すと画面が明るくなり、− ボタンを押すと画面が暗くなります。

SHARP ＋ / －：シャープネスを調整します。+ ボタンを押すとくっきりした画像になり、− ボタンを押すと柔らかな画像になります。

2 画面表示または 4 画面表示のときは、INPUT A またはインプットボードに接続した機器からの入力信号ごとに調整できます。

INPUT SEL ボタン（❺）で入力信号を選択してから各種調整を行ってください。全画面表示のときは、INPUT SEL ボタンを押す必要はありません。

例：INPUT A からの信号のコントラストを強くしたい場合、INPUT SEL A ボタンを押してから CONTR + ボタンを押す。

❼ SCREEN SEL（スクリーン選択）ボタン

2 画面表示または 4 画面表示のとき、INPUT A またはインプットボードに接続した機器からの信号を画面のどの位置に映すかを選択します。

INPUT SEL ボタン（❺）で入力信号を選択してからこのボタンで位置を選びます。

例：INPUT B からの信号を 4 画面表示で、SCREEN SEL 3 ボタンの位置（スクリーンの左下の画面）に映す場合、INPUT SEL B ボタンを押してから SCREEN SEL 3 ボタンを押す。

❽ LENS CONT（レンズコントロール）ボタン

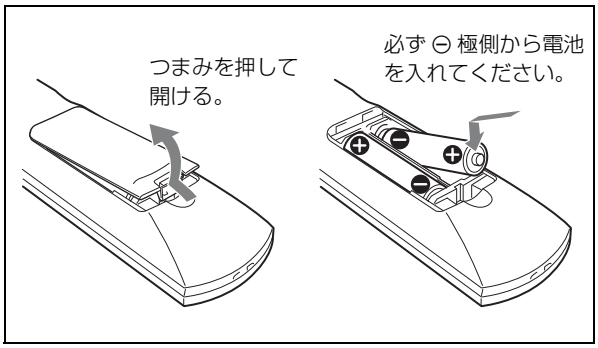
FOCUS（フォーカス）＋ / －：フォーカスを調整します。+ を押すと遠い側にフォーカスが合い、− を押すと近い側にフォーカスが合うようになります。

ZOOM（ズーム）＋ / －：画面の大きさを調整します。+ を押すと画面が大きくなり、− を押すと画面が小さくなります。

SHIFT（シフト）＋ / －ボタン：投影画面の上下の位置を調整します。+ を押すと画面が上に移動し、− を押すと画面が下に移動します。

電池の入れかた

1 ふたをはずし、⊕ と ⊖ の方向を確認して単 3 形（R6）乾電池 2 個（付属）を入れる。



2 ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意

⚠警告

6 ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

ご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

準備

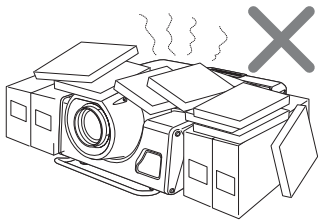
第2章

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

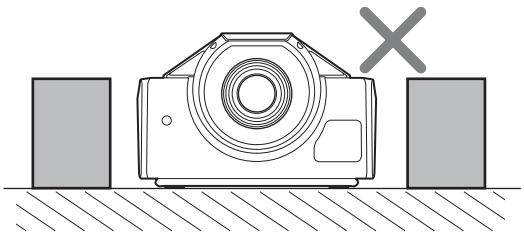
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

風通しが悪い場所



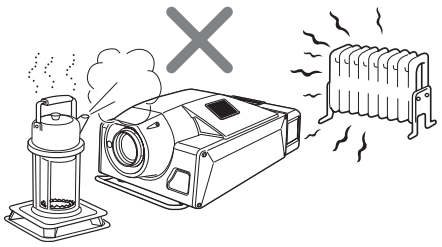
吸気口、排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、吸気口および排気口をふさがないように設置してください。

排気口をふさぐ場所

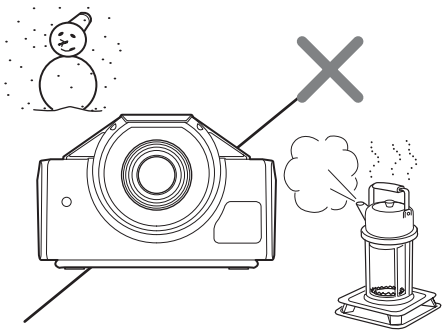


本機側面や後面の排気口のそばに物を置くと、排気が吸気口に回りこみ、内部の温度が上昇して保護回路が動作することがあります。排気をさえぎらないように注意して本機を設置してください。本機の周囲から１ｍ以内には物を置かないようにしてください。

温度や湿度が高い場所

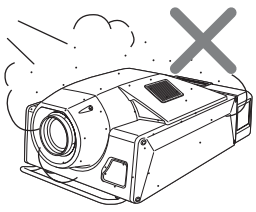


急激な温度変化のある場所



プロジェクターの設置してある室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因となりますので冷暖房にご注意ください。

ほこりが多い場所

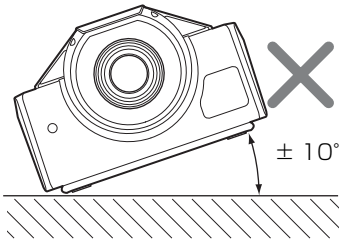


使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。

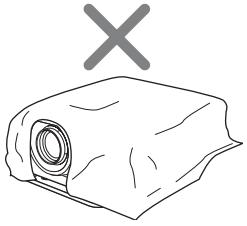
本機を横倒しや逆さまにして使用する

本機を左右に傾ける



プロジェクターを± 10 度以上傾けたり、床置き以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆う



吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

◆ 吸排気口の位置については、「各部の名称と働き」（9 ページ）をご覧ください。

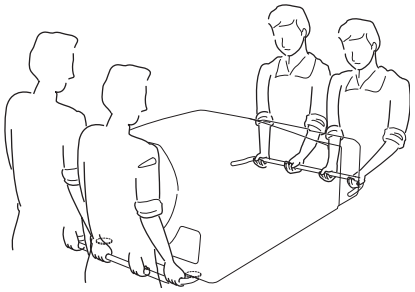
設置する

キャリングハンドルの使いかた

プロジェクター本体を持ち運ぶときは、前後のハンドルを使用します。

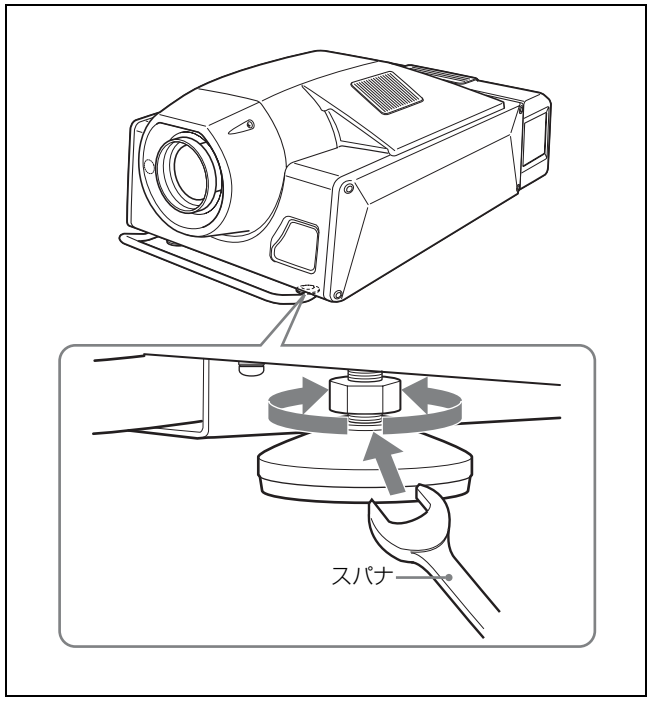
⚠警告

開梱や運搬は、必ず 4 人以上で行ってください。3 人以下で行うと、腰を痛めたり、落として足を痛めたりすることがあります。



アジャスターの使いかた

設置場所が水平でない場合など、スパナなどの工具を使用してアジャスターを回し、プロジェクターが水平になるように調整してください。アジャスターは左右にあります。



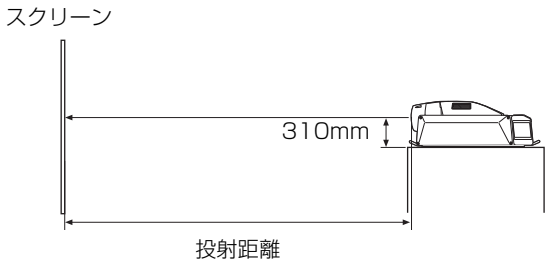
⚠警告

ネジをいっぱいに回し切ったとき、それ以上無理に回そうとすると、工具がはずれて手にけがをすることがあります。ご注意ください。

プロジェクターの設置方法

ここでは、本機を正面から投影するときの設置方法を簡単に説明します。レンズの中心からスクリーンまでの距離（投射距離）は、装着しているレンズの種類や入力信号、画面サイズなどによって変わります。

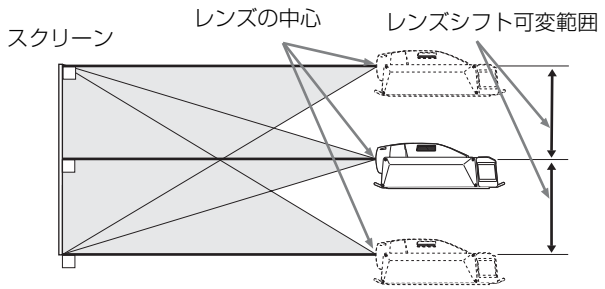
◆ 設置例と設置寸法について詳しくは、別冊の「特約店様用設置説明書」をご覧ください。



上下の位置（横から見た図）

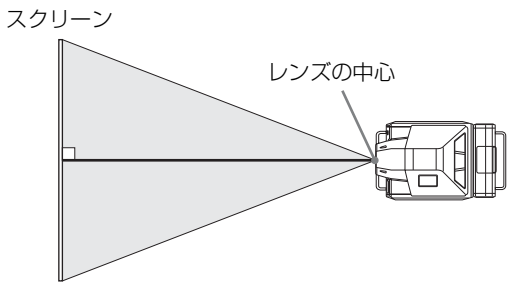
レンズの中心がスクリーンの上端から下端までに入るように設置してください。レンズコントロールのシフト調整により、直投（レンズの中心とスクリーンの中心を合わせて投影する）の場合より 1/2 画面づつ上下に投影画面を移動できます。

◆ レンズシフト調整について詳しくは 23 ページをご覧ください。



左右の位置（上から見た図）

レンズの中心が、スクリーンの左右の中心と合うように設置してください。



SRX Controller をコントロール用コンピューターにインストールする

付属の SRX Controller をコントロール用コンピューターにインストールすると、コンピューターから本機を操作できます。

動作環境

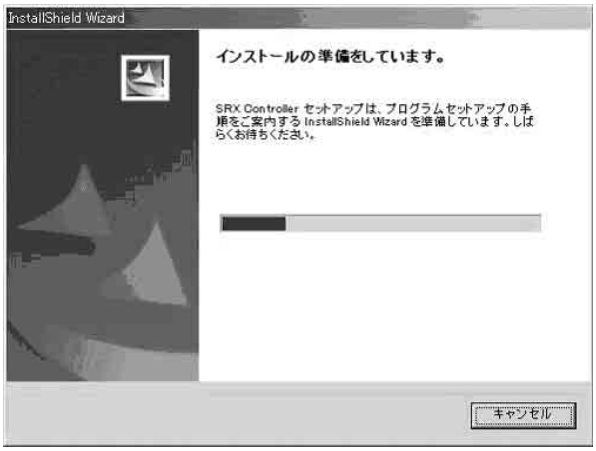
付属の SRX Controller を動作させるには、次の環境が必要です。

- コンピューター：Intel Celeron CPU、1GHz 以上
  - 搭載メモリー：256 MB 以上
  - 通信：Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
  - VGA：XGA（1024 × 768）以上
  - HDD：IDE 接続でコンピューターに接続されたドライブで 8 MB 以上の空き容量があること
  - CD-ROM ドライブ：8 倍速以上
- OS：Microsoft Windows XP Professional SP2 (日本語または英語版)

SRX Controller をインストールする

1 コンピューターの CD-ROM ドライブに付属のインストールディスクを挿入する。

インストールディスクのルートフォルダにある setup.exe が起動し、インストール準備画面が表示されます。



しばらくすると、SRX Controller のウィザードが表示されます。

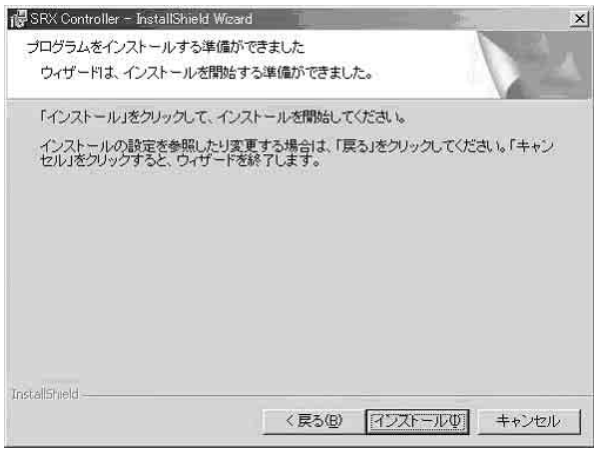
2 [次へ] をクリックする。

使用許諾に関する画面が表示されます。

3 内容をよくお読みになり、承諾の上 [同意する] をクリックし、[次へ] をクリックする。

インストール先の選択画面が表示されます。

表示されているフォルダにインストールする場合は、[次へ] をクリックします。
インストール先を変更する場合は、[変更 ...] をクリックし、インストール先を指定して [OK] をクリックし、[次へ] をクリックします。
インストール開始画面が表示されます。



4 [インストール] をクリックする。

インストールが開始されます。
しばらくすると、インストール完了画面が表示されます。

5 [完了] をクリックする。

インストールが完了します。
インストール完了後すぐに SRX Controller を起動する場合は、[Launch SRX Controller] をチェックしてから [完了] をクリックしてください。

デスクトップ上に アイコンが表示されます。

コントロール用コンピューターを接続する

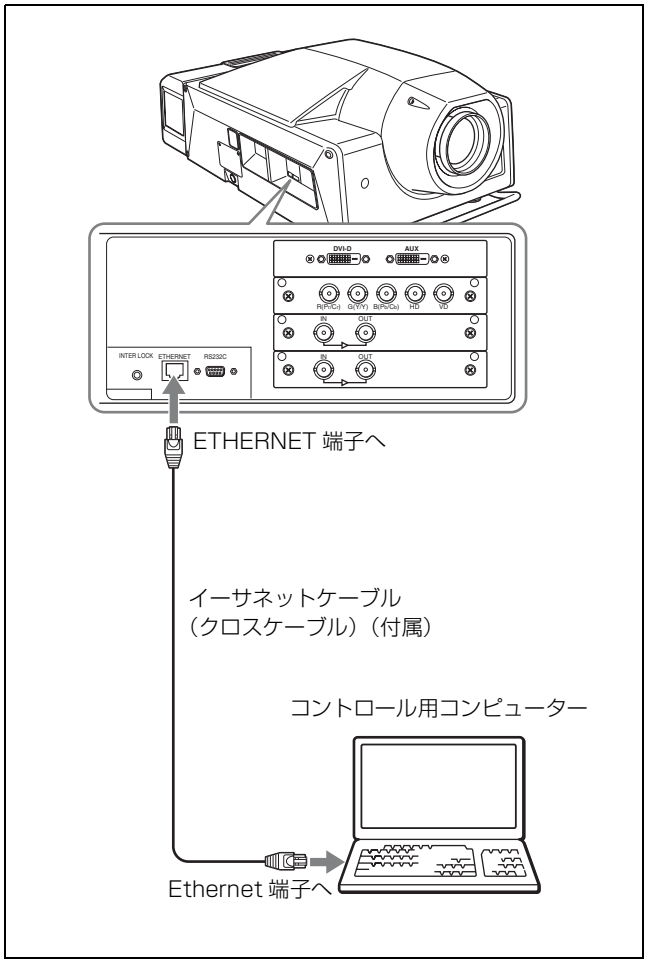
本機左側面の ETHERNET 端子または RS232C 端子のどちらかにコンピューターを接続します。

ETHERNET 端子経由で接続する

付属のイーサネットケーブル（クロスケーブル）で接続します。

ご注意

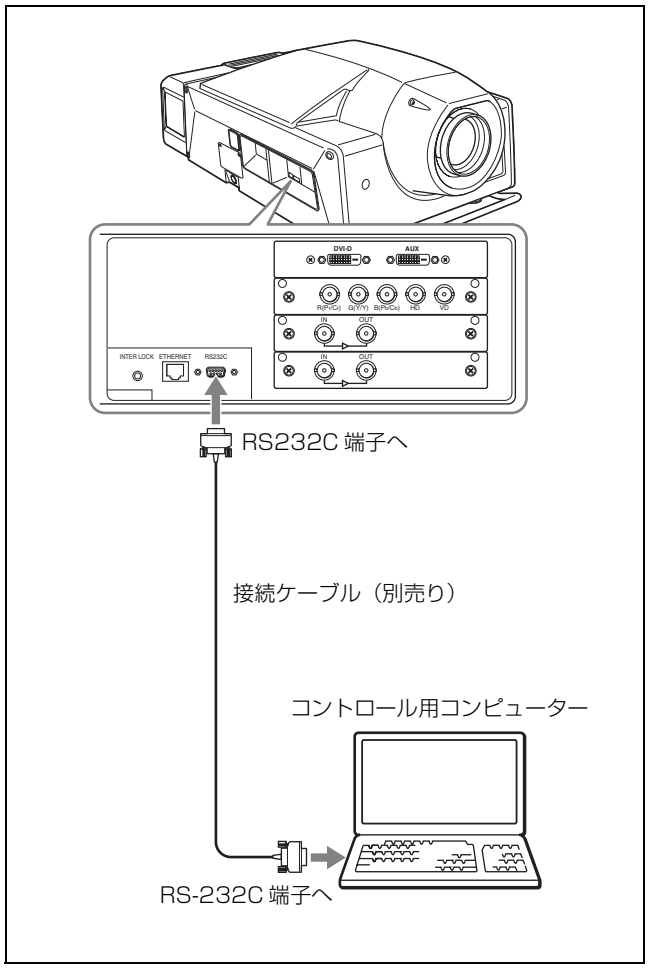
コンピューターのインターネットプロトコル（TCP/IP）を DHCP に設定してください。



ご注意

- 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。接続については本書の指示に従ってください。
- イーサーネットケーブルを本体に接続せずに本体の電源を長時間入れたままにしていた場合、イーサーネットケーブルを接続し、ネットワーク接続の再設定を行っていると、STATUS MESSAGE 表示窓に「Sony SR Projector Initializing...」と表示される場合がありますが、異常ではありません。

RS232C 端子経由で接続する



SRX Controller を起動する

起動するには

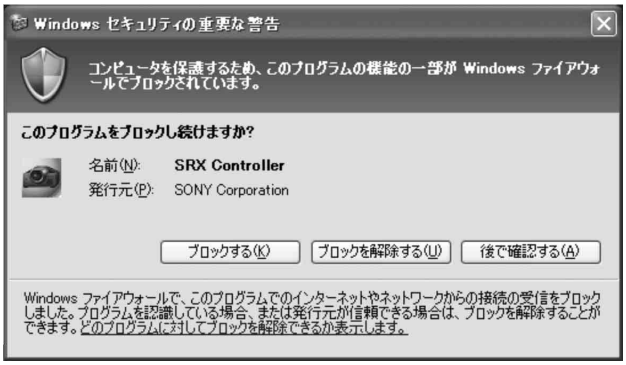
コンピューター画面上の アイコンをダブルクリックする。
SRX Controller が起動し、「Browser Screen（ブラウザースクリーン）」（初期画面）が表示されます。

起動時のご注意

コントロール用コンピューターが Windows XP SP2 以降または市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていて下記の場合は、ファイアウォールの設定を解除してください。

Windows XP SP2 の場合

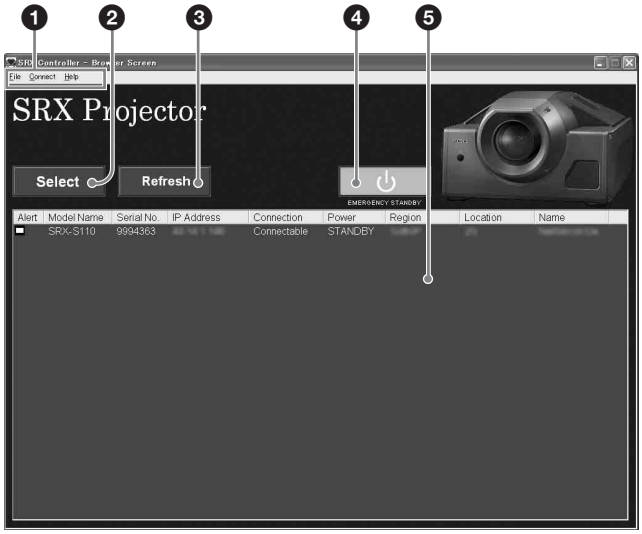
SRX Controller 起動時に下記のダイアログが表示された場合は [ブロックを解除する (U)] を選択してください。ダイアログが表示されず、プロジェクターと接続されない場合は、[コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を起動し、[例外] タブ内のリストに「SRX Controller」を追加してください。



市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしている場合

ファイアウォールソフトウェアの取扱説明書の手順に従って、許可リストに「SRX Controller」を追加してください。

Browser Screen 画面について



❶ メニューバー

File（ファイル）

SRX Controller を終了するとき、[File] メニューから [Quit] を選びます。

Connect（接続）

本機とプロジェクターコントロール用コンピューターとの接続モードを選びます。

◆ 詳しくは、「接続モードを変更する」（20 ページ）をご覧ください。

Help（ヘルプ）

[Help] メニューから [Version] を選ぶと、この SRX Controller のバージョン情報を表示します。

❷ Select（選択）ボタン

ネットワークに接続され、プロジェクター検出画面に表示されているプロジェクターを選び、このボタンをクリックすると、選んだプロジェクターの「Control Function Menu（コントロールファンクションメニュー）」画面が表示されます。

❸ Refresh（リフレッシュ）ボタン

プロジェクター検出画面に表示されているプロジェクターの情報を更新します。

❹ EMERGENCY STANDBY ⏻（緊急スタンバイ）ボタン

プロジェクター検出画面の [Connection（接続）] 欄が [Connectable（接続可能）] になっているプロジェクターをスタンバイ状態にします。ファンは回り続けます。

❺ プロジェクター検出画面

ネットワークに接続されているプロジェクターの情報が表示されます。

[Alert]：プロジェクターのエラー情報の有無（■：有、□：無）

[Model Name]：プロジェクターの機種名

[Serial No.]：プロジェクターのシリアル番号

[IP Address]：プロジェクターの IP アドレス

[Connection]：ネットワークとの接続状態

この SRX Controller で選択できるプロジェクターは、[Connection（接続）] 欄に [Connectable（接続可能）] と表示されます。

[Power]：プロジェクターの電源の状態

[Region]：プロジェクターを設置している地域

[Location]：プロジェクターの設置場所

[Name]：任意の名前

SRX Controller を終了するには

メニューバーの [File] メニューから [Quit] を選びます。

接続モードを変更する

本機とコントロール用コンピューターがネットワーク接続されている場合は、IP アドレスを直接指定しても接続できます。また、RS-232C を介して接続することもできます。

Ethernet で IP アドレスを指定して接続する場合

メニューバーの [Connect] メニューから [Ethernet] を選び、表示されるダイアログにプロジェクターの IP アドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

ポート番号を変更する場合は、メニューバーの [Connect] メニューから [PC Port Setting] を選び、表示されるダイアログにポート番号を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

RS232C で接続する場合

メニューバーの [Connect] メニューから [RS232C] を選び、表示されるダイアログに、プロジェクターと通信するコンピューターの COM ポート（RS-232C）のポート番号を指定し、[OK] ボタンをクリックする。

投影する機器を接続する

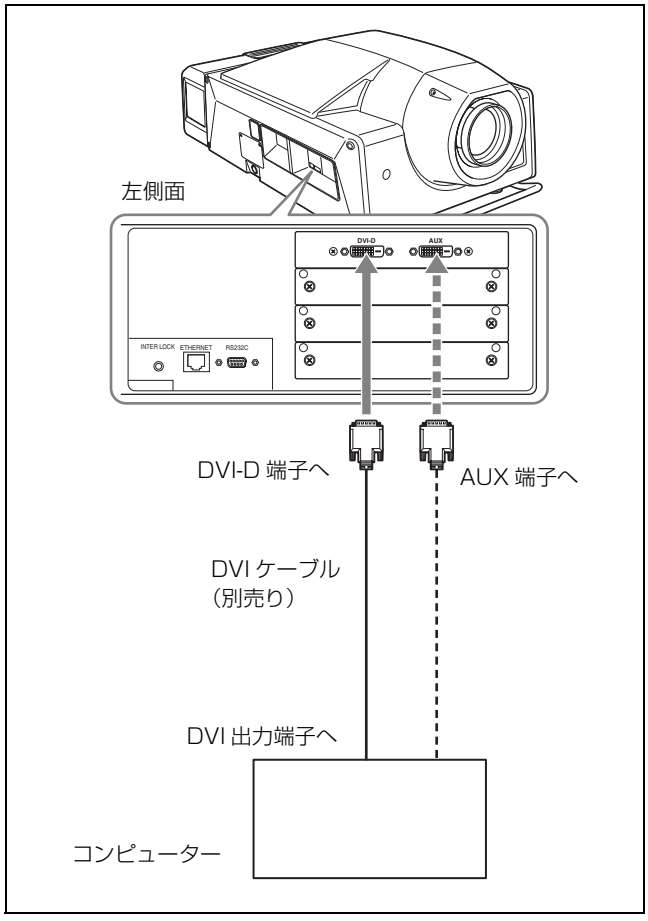
接続するときは

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れの原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- インプットボードを取り付けるときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

コンピューターを接続する（DVI-D 接続の場合）

本機の INPUT A の DVI-D 端子、またはインプットボード取り付け部の INPUT B から INPUT D に装着した DVI インターフェースボード LKRI-004 の DVI-D 端子にコンピューターを接続します。プログレッシブの DVI 信号を入力できます。

図は本機の INPUT A の DVI-D 端子に接続した場合です。

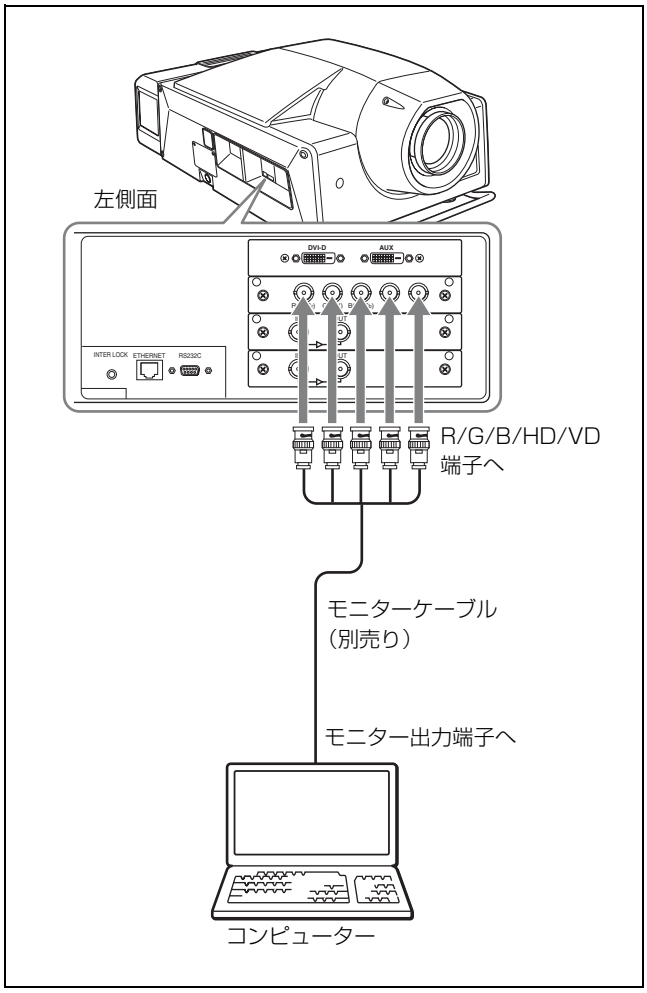


ご注意

- 入力する信号に応じて、「PICTURE CONTROL」画面の [Input Source] の [Signal Mode] で入力信号を設定してください。(28 ページ)
- 長尺ケーブルを使用した場合、信号の減衰により正しく表示できないことがあります。
- 10 ビット信号を入力する場合で DVI-D 端子のみで接続する場合（10 ビットシングルモード)、Dual-link 対応の DVI ケーブルをご使用ください。

コンピューターを接続する（アナログ RGB 接続の場合）

インプットボード取り付け部に別売りのインプットボード LKRI-001 を装着し、コンピューターと接続します。



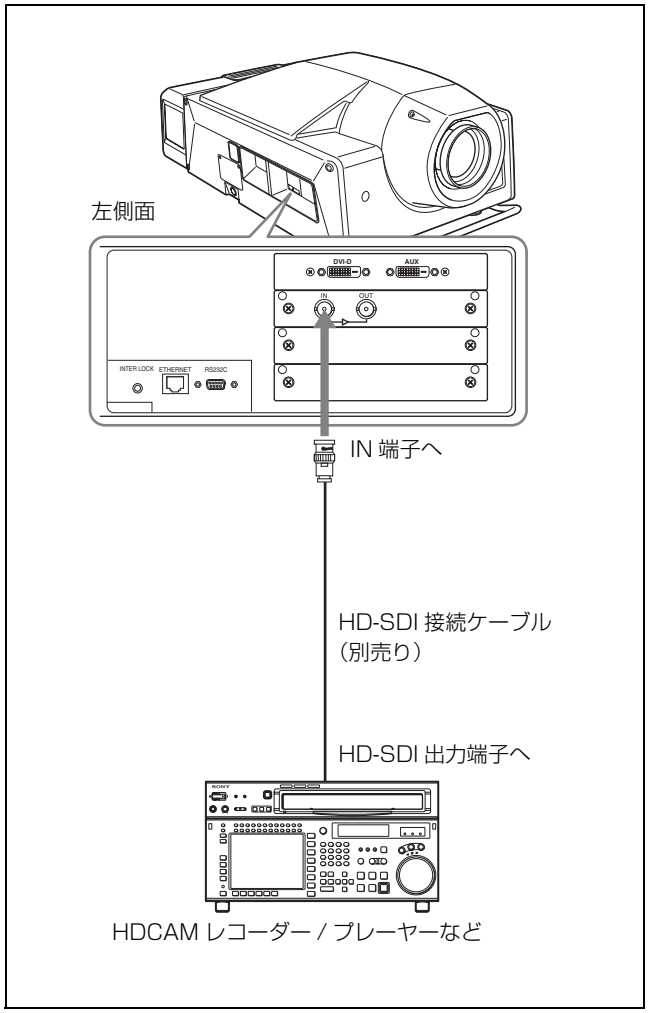
ご注意

「PICTURE CONTROL」画面の [Input Source] の [Signal Mode] を [RGB] に設定してください。

◆ 詳しくは 28 ページをご覧ください。

HD-SDI 機器を接続する

インプットボード取り付け部に別売りのインプットボード LKRI-002 または LKRI-003 を装着し、HDCAM レコーダー / プレーヤーなどを接続します。
図は INPUT B に LKRI-002 を装着した場合です。



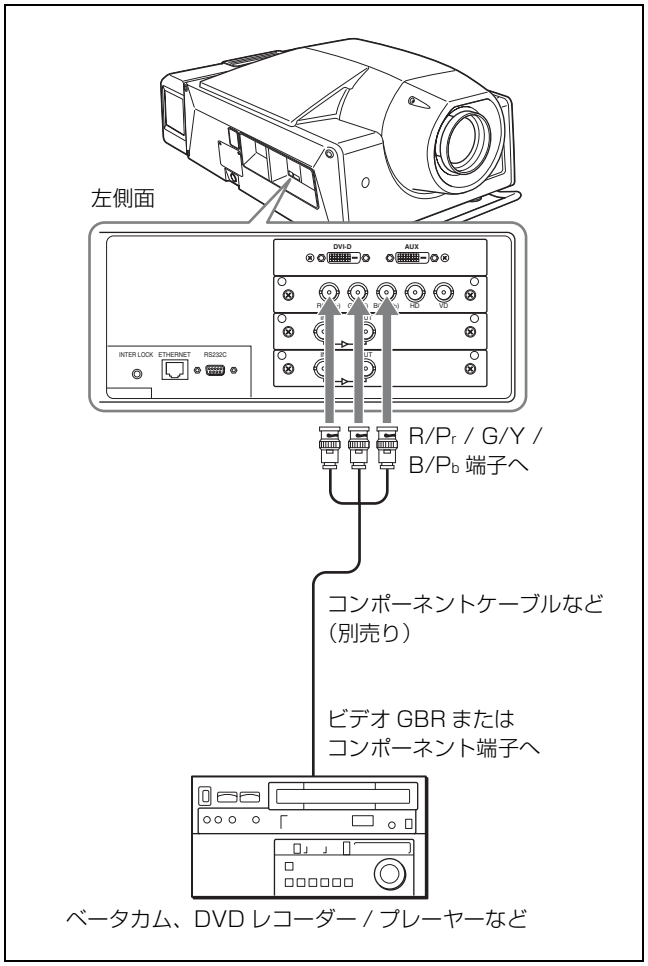
ご注意

LKRI-003 装着時は、「PICTURE CONTROL」画面の [Input Source] の [Signal Mode] で入力信号の種類を選択してください。Single-link で入力する場合は [YPbPr] または [YPbPr FULL] に設定してください。Dual-link で入力する場合は [RGB] または [RGB FULL] に設定してください。

◆ 詳しくは、28 ページをご覧ください。

コンポーネント機器を接続する

インプットボード取り付け部に別売りのインプットボード LKRI-001 を装着し、コンポーネント端子のあるアナログベータカム、DVD レコーダー／プレーヤーなど、またはビデオ GBR 端子のあるハイビジョン機器と接続します。



ご注意

コンポーネント機器の出力端子に接続する場合は、「PICTURE CONTROL」画面の [Input Source] の [Signal Mode] を [YPbPr] に、ビデオ GBR の出力端子に接続する場合は [RGB] に設定してください

◆ 詳しくは 28 ページをご覧ください。

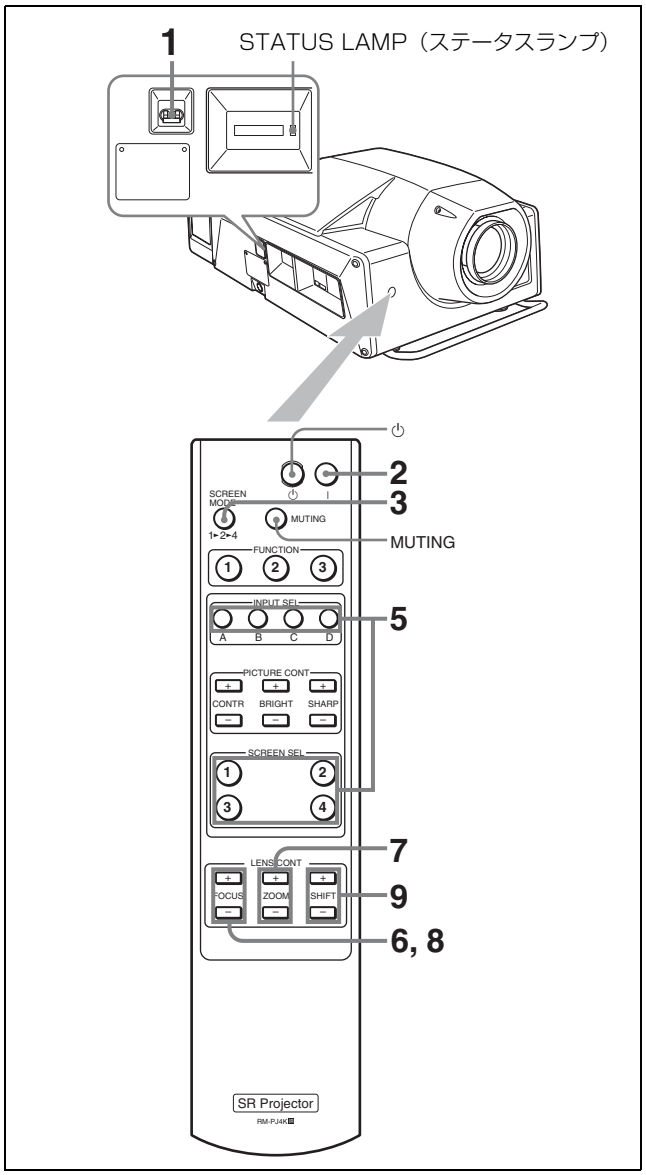
投影

第3章

スクリーンに画像を映す

付属のリモートコマンダーまたは、付属の SRX Controller をインストールしたコンピューターの画面上で操作します。

リモートコマンダーで操作する



1 本体左側面の電源スイッチを上側にする。

STATUS LAMP が赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 **I** ボタンを押して電源を入れる。

STATUS LAMP が緑色に点灯します。

3 スクリーンモードを選ぶ。

SCREEN MODE ボタンを押すたびに、スクリーンモードが切り換わります。

1 （全画面モード）：画面いっぱいに映像を映す。
2 （2 画面モード）：画面を 2 分割して映像を映す。それぞれの画面に別々の映像を映すこともできます。
4 （4 画面モード）：画面を 4 分割して映像を映す。それぞれの画面に別々の映像を映すこともできます。

4 映像を映す機器の電源を入れる。

5 INPUT SEL ボタンを押して投影する映像を選ぶ。

A：INPUT A の DVI-D 端子に接続した機器からの映像を映すとき。
B：INPUT B に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。
C：INPUT C に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。
D：INPUT D に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

手順 3 で「2 画面」または「4 画面」モードを選んだ場合

INPUT SEL（A ～ D）ボタンを押して映したい入力ソースを選んでから、SCREEN SEL ボタンでそれぞれの映像ソースをどの画面に映すかを選びます。

ご注意

動画をマルチ画面モードで投影する場合は、投影する信号すべてにゲンロックをかけて同期を合わせてください。2 画面モードでは左の画像、4 画面モードでは左上の画像が基準画像となります。同期の取れていない

動画は他の画面と違和感のある動きになります。静止画のみを投影する場合は問題ありませんが、動画と静止画を併せて投影する場合は、動画を左（2 画面モード）または左上（4 画面モード）の画面に投影するように選択してください。

6 FOCUS+/– ボタンでフォーカスを調整する。

調整中はスクリーンに「FOCUS」と表示されます。

7 ZOOM +/– ボタンで画面の大きさを調整する。

調整中はスクリーンに「ZOOM」と表示されます。

8 FOCUS+/– ボタンで再度フォーカスを調整する。

9 SHIFT+/– ボタンで画面の位置を調整する。

調整中はスクリーンに「SHIFT」と表示されます。

ご注意

「FOCUS」、「ZOOM」、「SHIFT」の表示は、コンピューターのコントロール画面で「OSD OFF」に設定されている場合は表示されません。

映像を消すには

MUTING ボタンを押す。
再び映像を出すには、もう一度 MUTING ボタンを押します。

電源を切るには

1 ⏻ ボタンを押す。

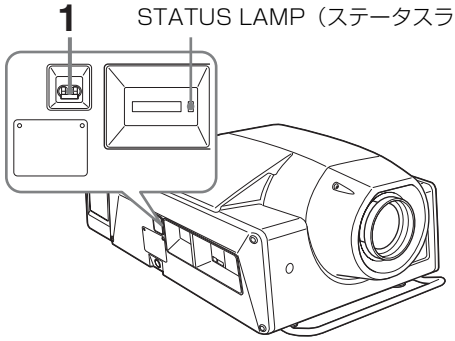
STATUS LAMP が緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約 10 分間回り続けます。
ファンが止まると STATUS LAMP が赤く点灯します。

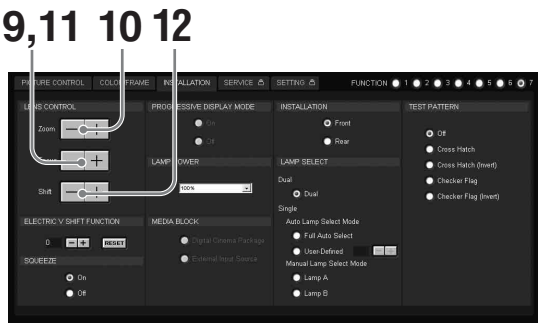
2 本体左側面の電源スイッチを下側にする。

ご注意

ファンが回っている間は、電源スイッチで電源を切らないでください。ファンが止まり、本機内部の温度が充分下がらないため、故障の原因となることがあります。

コンピューターで操作する





1 本体左側面の電源スイッチを上側にする。

POWER インジケーターと STATUS LAMP が赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 コンピューターを起動し、画面上の アイコンをダブルクリックする。

SRX Controller の「Browser Screen」画面が表示されます。

3 操作するプロジェクターを選びダブルクリックするか [Select] ボタンをクリックする。

「Control Function Menu」画面が表示されます。

ご注意

ネットワーク接続の場合、直接 IP アドレスを指定して、操作するプロジェクターを選ぶこともできます。また、RS232C 端子経由で接続している場合は、RS-232C のポート番号を指定してください。

◆ 詳しくは、「接続モードを変更する」（20 ページ）をご覧ください。

4 [POWER ON I] ボタンをクリックして電源を入れる。

POWER インジケーターと STATUS LAMP が緑色に点灯します。

5 スクリーンモードボタンをクリックしてスクリーンモードを選ぶ。

（全画面モード）：画面いっぱいに映像を映す。
（2 画面モード）：画面を 2 分割して映像を映す。それぞれの画面に別々の映像を映すこともできます。
（4 画面モード）：画面を 4 分割して映像を映す。それぞれの画面に別々の映像を映すこともできます。

6 映像を映す機器の電源を入れる。

7 をクリックして表示されるドロップダウンリストから投影する映像を選ぶ。

INPUT A：INPUT A の DVI-D 端子に接続した機器からの映像を映すとき。
INPUT B：INPUT B に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。
INPUT C：INPUT C に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。
INPUT D：INPUT D に装着されたインプットボード（別売り）の端子に接続した機器からの映像を映すとき。

ご注意

本機の INPUT A、アナログインプットボード LKRI-001、HD-SDI（4:4:4）インプットボード LKRI-003 または DVI-D インターフェースボード LKRI-004 からの信号を選んだ場合は、「PICTURE CONTROL」画面で [Input Source] の [Signal Mode] を正しく設定してください。設定が違っていると映像が乱れる場合があります。

◆ 詳しくは 28 ページをご覧ください。

手順 5 で「2 画面」または「4 画面」モードを選んだ場合

それぞれのドロップダウンリストボックスで入力を選びます。

ご注意

- 動画をマルチ画面モードで投影する場合は、投影する信号すべてにゲンロックをかけて同期を合わせてください。2 画面モードでは左の画像、4 画面モードでは左上の画像が基準画像となります。同期の取れていない動画は他の画面と違和感のある動きになります。静止画のみを投影する場合は問題ありませんが、動画と静止画を併せて投影する場合は、動画を左（2 画面モード）または左上（4 画面モード）の画面に投影するように選択してください。
- UXGA、WUXGA など垂直方向の解像度が 1080 を超える信号を 4 画面モードで投影すると、画像が一部欠けて表示されます。

8 [INSTALLATION] ボタンをクリックして、「INSTALLATION」画面を表示する。

9 [LENS CONTROL] の[Focus+/–]ボタンでフォーカスを調整する。

調整中はスクリーンに「FOCUS」と表示されます。

10 [Zoom+/–] ボタンで画面の大きさを調整する。

調整中はスクリーンに「ZOOM」と表示されます。

11 [Focus+/–] ボタンで再度フォーカスを調整する。

12 [Shift+/–] ボタンで画面の上下の位置を調整する。

調整中はスクリーンに「SHIFT」と表示されます。

ご注意

「FOCUS」、「ZOOM」、「SHIFT」の表示は、[OSD OFF] ボタンをクリックしている場合は表示されません。

映像を消すには

[CUT OFF] ボタンの [ON] をクリックする。「2 画面」または「4 画面」モードの場合は、それぞれの画面ごとに映像を消すことができます。再び映像を出すには、[CUT OFF] ボタンの [OFF] をクリックします。

画面全体の映像を消すには

[MUTING ON] ボタンをクリックすると、映像が消え、スクリーン全体が黒画面になります。[MUTING OFF] ボタンをクリックすると映像が出ます。

電源を切るには

1 [POWER STANDBY ⏻] ボタンをクリックし、表示される確認画面で [OK] ボタンをクリックする。

POWER インジケーターと STATUS LAMP が緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約 10 分間回り続けます。
ファンが止まると POWER インジケーターと STATUS LAMP が赤く点灯します。

2 本体左側面の電源スイッチを下側にする。

ご注意

ファンが回っている間は、本体の電源スイッチで電源を切らないでください。ファンが止まり、本機内部の温度が充分下がらないため、故障の原因となることがあります。

第4章 SRX Controllerで行う調整と設定

コントロール画面を表示する

本機では、付属のSRX Controllerをコントロール用コンピューターにインストールすると、画質の調整や入力信号の設定、設置設定の変更などをコンピューターの画面で操作することができます。

付属のリモートコマンダーで調整できる項目もあります。

◆ 詳しくは「各部の名称と働き－リモートコマンダー」（12ページ）をご覧ください。

1 コンピューター画面上の アイコンをダブルクリックする。

「Browser Screen」（初期画面）が表示されます。

2 操作したいプロジェクターを選び、ダブルクリックするか、[Select] ボタンをクリックする。

「Control Function Menu」画面が表示されます。

3 [PICTURE CONTROL]、[COLOR/FRAME]、[INSTALLATION] ボタンのいずれかを選び、操作したい画面を表示させる。

◆ 詳しくは、それぞれの画面のページをご覧ください。

Browser Screen（初期画面）に戻るには

メニューバーの [Back] ボタンを選ぶ。

コントロール画面を消すには

メニューバーの [File] メニューから [Quit] を選ぶか、（終了）ボタンをクリックする。

設定値をリセットするには

「PICTURE CONTROL」画面の [RESET] ボタンをクリックすると、[Signal Adjust] の項目の設定すべてが工場出荷時の値に戻ります。「COLOR/FRAME」画面の [RESET] ボタンをクリックすると、[Frame Adjust] の項目の設定すべてが工場出荷時の値に戻ります。

設定値の記憶について

本機では、FUNCTION1 ～ FUNCTION7 までの7種類の設定を登録できます。
初期設定では、設定値はFUNCTION1に自動的に記憶されます。他のメモリーに登録する場合は、「Control Function Menu」画面の [FUNCTION 1 ～ 7] ラジオボタンの [2] から [7] のいずれかのボタンをクリックして選択し、各画面で調整、設定を行います。
また、登録した設定値を呼び出すには、希望の [FUNCTION] ボタンをクリックします。[FUNCTION1 ～ 3] ボタンに保存した設定値は、リモートコマンダーのFUNCTION 1、2、3ボタンでも選べます。

ご注意

別のFUNCTION設定に切り換えるとき、FUNCTIONボタンをクリックすると、映像がいったんミューティング状態になります（最大10秒間程度）。その後、選択した設定の画面に切り換わります。

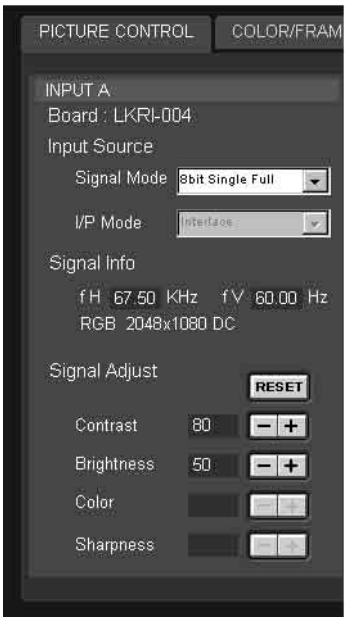
調整できない項目について

入力信号によって調整できない項目は画面に表示されません。

◆ 詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（33 ページ）をご覧ください。

PICTURE CONTROL（ピクチャーコントロール）画面

入力信号の選択や、画質の調整を行います。
スクリーンモードを「2 画面」または「4 画面」モードに設定している場合は、画面に表示されている入力チャンネルごとに調整できます。



Board（インプットボード）

本機の該当するスロットに装着されているインプットボードを表示します。INPUT A を選んでいる場合は常に「LKRI-004」と表示されます。

Input Source（入力ソース）

Signal Mode（信号モード）：本機の INPUT A または別売りのインプットボードに接続した機器からの入力信号の種類を、▼をクリックして表示されるドロップダウンリストから選びます。

INPUT A から信号を入力する場合または LKRI-004 装着時

入力する DVI-D 信号の種類を選びます。
通常は、[8bit Single Full]（DVI1.0 準拠、Full Range 対応）を選びます。
DTV 規格の信号を入力するときは、[8bit Single Limited]（DVI1.0 準拠、Limited Range 対応）を選びます。

独自仕様の 10 ビット信号を入力するときは、Full Range 対応の [10bit Twin Full] または [10bit Single Full]、Limitedl Range 対応の [10bit Twin Limited] または [10bit Single Limited] のいずれかを選びます。

LKRI-001 装着時

コンポーネント機器からのハイビジョン信号を入力するときは [YPbPr] を、ビデオ GBR 機器からのハイビジョン信号を入力するときは [RGB] を選びます。

LKRI-003 装着時

Single-link で入力する場合、[YPbPr] または [YPbPr FULL] を選びます。

Dual-link で入力する場合、[RGB] または [RGB FULL] を選びます。

[RGB] または [YPbPr] を選ぶと、「PICTURE CONTROL」画面の [Signal Adjust] で Contrast を 90 に設定して 10 ビットの HD-SDI 信号を入力した場合、HD-SDI 信号の 64 ～ 940 のデータ値 * をプロジェクターの 0 ～ 100% の映像レベルになるようにマッピング処理して、プロジェクターに表示します。

[RGB FULL] または [YPbPr FULL] を選ぶと、同じく Contrast 90 に設定して 10 ビットの HD-SDI 信号を入力した場合、HD-SDI 信号の 0 ～ 1023 のデータ値をプロジェクターの 0 ～ 100% の映像レベルになるようにマッピング処理して表示します。このとき、HD-SDI 信号に含まれる禁止コード（0 ～ 3、1020 ～ 1023 のデータ領域）はマスクされます。

* HD-SDI 信号 10 ビット入力では、映像レベル 0%（黒）のデータ値は 64、100%（白）のデータ値は 940 になります。

I/P Mode（I/P モード）：I/P 変換モードを選択します。信号ソースに応じて、[Interlace]（インターレース）または [PsF] に設定します。

ご注意

- この項目は、インターレース信号または PsF 信号入力時のみ有効です。
- INPUT A からの入力時および LKRI-004 装着時は、[I/P Mode] の選択はできません。

Signal Info（信号情報）

入力信号の水平 / 垂直周波数を自動的に表示します。数値は目安です。

また、周波数表示の下に入力信号の種類が表示されます。

fH：水平周波数を表示します。

fV：垂直周波数を表示します。

Signal Adjust（信号調整）

入力信号の画質を調整します。

[+] をクリックすると設定値が大きくなり、[−] をクリックすると設定値が小さくなります。

RESET ボタンで、すべての項目を工場出荷時の値にリセットできます。

Contrast：コントラストを調整します。設定値が大きくなるほどコントラストが強くなります。

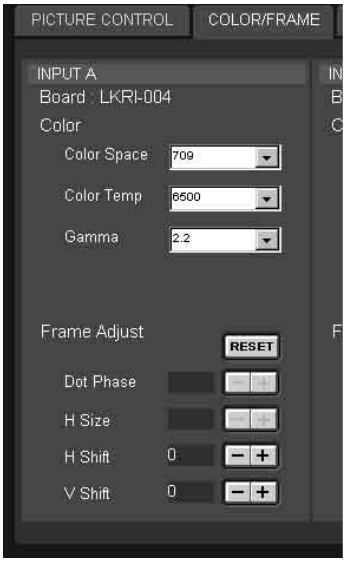
Brightness：明るさを調整します。設定値が大きくなるほど明るくなります。

Color：色の濃さを調整します。設定値が大きくなるほど色が濃くなります。

Sharpness：シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりします。設定値が小さくなると柔らかになります。

COLOR/FRAME（カラー／フレーム）画面

入力信号の設定を変更します。
スクリーンモードを「2 画面」または「4 画面」モードで投影している場合は、画面に表示されているそれぞれの入力チャンネルごとに調整できます。



Board（インプットボード）

本機の該当するスロットに装着されているインプットボードを表示します。INPUT A を選んでいる場合は常に「LKRI-004」と表示されます。

Color（カラー）

正しい色再現が得られるように設定します。
画像の色がおかしい場合は、まず [Color Space] の設定を確認してください。
▾ をクリックして表示されるドロップダウンリストから選びます。

Color Space（カラースペース）：色調再現範囲を選択します。

[709]：通常のハイビジョン信号や RGB 信号を映す場合

[DCDM]：DCI スペックブック /Version1.0 で規定された Minimum D-Cinema Color Gamut で映す場合

[CIEXYZ]：DCDM を超える広い色度域を持った特殊素材を映す場合（12bit-XYZ 信号など）

Color Temp（色温度）：色温度を選択します。[DCI W/P]、[6500]、[CUSTOM1]、[CUSTOM2] 、[CUSTOM3]、[CUSTOM4] から選択します。[CUSTOM1 ～ 4] には [DCI W/P] が初期設定されています。
通常のハイビジョン信号や RGB 信号を映す場合は [6500] を選択することをおすすめします。映画素材を映す場合は [DCI W/P] に設定してください。

Gamma（ガンマ）：ガンマ補正モードを選びます。[2.6]、[2.2]、[1.8] から選択します。
数値が小さいほど明るくなります。映像ソースに応じて選択してください。通常のハイビジョン信号や RGB 信号の素材を映す場合は [2.2] を選択することをおすすめします。

INPUT A または LKRI-004 に信号を入力したときは

[Color] の各項目を設定すると、EDID ROM の色域記述エリアに設定が書き込まれます。
各項目を選択したときに EDID ROM に書き込まれる値は、以下のとおりです。

Color Space の設定

[709]：Red (0.6400, 0.3300)、Green (0.3000, 0.6000)、Blue (0.1500, 0.0600)

[DCDM]：Red (0.6800, 0.3200)、Green (0.2650, 0.6900)、Blue (0.1500, 0.0600)

Color Temp の設定

[6500]：White (0.3127、0.3290)

[DCI W/P]：White (0.3140、0.3510)

[CUSTOM1] ～ [CUSTOM4]：White (0.3140、0.3510)（デフォルト値）

Gamma の設定

[2.6]：2.6

[2.2]：2.2

[1.8]：1.8

Frame Adjust（フレーム調整）

画像の位置やサイズを調整します。
＋ をクリックすると設定値が大きくなり、－ をクリックすると設定値が小さくなります。
[RESET] ボタンで、フレーム調整すべての項目を工場出荷時の値にリセットできます。

Dot Phase（ドットフェーズ）：SXRD パネルと入力される信号の位相を調整します。画像がいちばんくっきり見える位置に合わせます。

H Size（水平サイズ）：入力信号に合わせて画面の大きさを調整します。設定値が大きくなるほど画面の左右幅が広がります。

H Shift（水平位置）：画面の左右の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が右に、設定値が小さくなると画面が左に移動します。

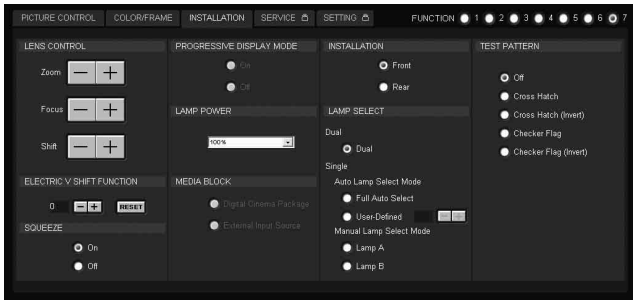
V Shift（垂直位置）：画面の上下の位置を調整します。設定値が大きくなると画面が上に、設定値が小さくなると画面が下に移動します。

ご注意

- [Dot Phase]、[H Size] は、コンピューターからのアナログ RGB 信号入力時のみ調整できます。
- フレーム調整で画像を正しい位置に調整していないと画像の外にノイズが現れる場合がありますが、故障ではありません。[Frame Adjust] で正しい位置に調整してください。

INSTALLATION（設置設定）画面

画面の調整やプロジェクターの設置状態の選択、ランプ出力の調整などを行います。



LENS CONTROL（レンズコントロール）

スクリーンに投影した画像の調整を行います。

Zoom（ズーム）＋/－：画像の大きさを調整します。
＋ をクリックすると画像が大きくなり、－ をクリックすると画像が小さくなります。

Focus（フォーカス）＋/－：フォーカスを合わせます。
＋ をクリックすると遠い側にフォーカスが合い、
－ をクリックすると近い側にフォーカスが合うようになります。

Shift（シフト）＋/－：画像の上下の位置を調整します。
＋ をクリックすると画像が上方向に移動し、－ をクリックすると画像が下方向に移動します。

ELECTRIC V SHIFT FUNCTION（垂直シフト機能）

投影画面の上下位置を電気的に調整します。設定値が大きくなると画面が上方向に、設定値が小さくなると画面が下方向に移動します。[RESET] ボタンで、工場出荷時の値にリセットできます。

ご注意

- この項目は以下の場合に有効です。
  －全画面モードのとき
  －4 画面モードで、左上に INPUT A、右上に INPUT B、左下に INPUT C、右下に INPUT D の信号を投影し、入力信号の周波数が 24/23.98Hz で、かつ [PROGRESSIVE DISPLAY MODE] を [On] に設定したとき

• この機能を 4 画面モードでご使用になる場合は、投影する信号すべてにゲンロックをかけて同期を合わせてください。同期が取れていないと画像が正しく表示されません。

SQUEEZE（スクイーズ）

表示画枠 (アスペクト比) を変更できます。
[On] ラジオボタンをクリックすると、Video 59.94 Hz または Video 50 Hz の映像信号のアスペクト比を 4：3 から 16：9 に拡大して表示します。また、720p、1920 × 1080、2048 × 1080 の映像信号のアスペクト比を 16：9 から 2.39：1 に拡大して表示します。
[Off] ラジオボタンをクリックすると、入力信号のままのアスペクト比で表示します。

ご注意

この機能は全画面モード時のみ有効です。

PROGRESSIVE DISPLAY MODE（プログレッシブディスプレイモード）

通常は、[Off] ラジオボタンをクリックします。
4 画面モードのとき、標準装備の INPUT A と 3 枚のインターフェースボード LKRI-004 から 2048 (1920) × 1080 画素の信号を入力して 4096 (3840) 画素の画像としてスクリーンに投影する場合、[On] ラジオボタンをクリックします。

LAMP POWER（ランプパワー）

光源用ランプの出力を調整します。
▼ をクリックして表示されるドロップダウンリストからランプ出力を選びます。
ランプ出力を 93%/86%/79%/72%/65%/58%/51% まで下げることができます。画面は暗くなりますが、消費電力を軽減し、ランプの寿命が長くなります。[100%] を選ぶと一番明るい画面になります。

ご注意

ランプ出力を頻繁に切り換えると、ランプの寿命が短くなることがあります。なるべく出力を固定して使用することをおすすめします。

INSTALLATION（設置）

投影方法を設定します。

Front：フロント投影するとき選びます。
Rear：リア投影のとき選びます。

ご注意

設定を切り換えるとき、ラジオボタンをクリックすると、映像がいったんミューティング状態になります（最大 10 秒間程度）。その後、画面が切り換わります。

LAMP SELECT（ランプ選択）

光源用ランプを 2 灯、または 1 灯使用するかを選びます。

Dual（デュアル）：ランプを 2 灯使用するとき [Dual] ラジオボタンをクリックします。
Single（シングル）：ランプを 1 灯のみ使用するとき選びます。この場合、使用するランプを自動的に選択するモードと、Lamp A または Lamp B を指定して使用するモードがあります。

Auto Lamp Select Mode（自動選択モード）
Full Auto Select（フルオートセレクト）ラジオボタンをクリックすると、ランプの使用時間の短いほうが自動的に選ばれ点灯します。また、長時間使用する場合、[User-Defined]（ユーザー決定）ラジオボタンをクリックし、＋ / － ボタンで 4 時間から 24 時間の範囲で時間を指定すると、指定した時間ごとにランプを切り換えて使用することができます。

Manual Lamp Select Mode（手動選択モード）
Lamp A または Lamp B のラジオボタンをクリックして、使用するランプを指定します。

ご注意

[Single] モードから [Dual] モードに切り換えたときおよび Lamp A と Lamp B が切り換わるとき、いったん映像がミューティング状態になります。

TEST PATTERN（テストパターン）

本機に内蔵のテストパターンをスクリーンに表示し、他機からの信号を入力せずに画像の調整ができます。Cross Hatch（クロスハッチ）、Cross Hatch（Invert）（インバートクロスハッチ）、Checker Flag（チェッカーフラグ）、Checker Flag (Invert)（インバートチェッカーフラグ）から希望のテストパターンのラジオボタンをクリックします。テストパターンを表示しないときは [Off] ボタンをクリックします。

ご注意

内蔵のテストパターン表示中は、スクリーンモードの切り換え、インプットボードの切り換え、PICTURE CONTROL、COLOR/FRAME の調整はできません。

入力信号と調整・設定項目

「PICTURE CONTROL」画面の [Signal Adjust] と、「COLOR/FRAME」画面の [Frame Adjust] の項目で、入力信号によっては調整・設定できない項目があります。調整・設定できない項目は画面に表示されません。

Signal Adjust

項目	入力信号					
	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	HD SDI	DVI-D	4K
Contrast	○	○	○	○	○	○
Brightness	○	○	○	○	○	○
Color	○	×	×	○	×	×
Sharpness	○	○	○	○	×	×

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

Frame Adjust

項目	入力信号					
	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	HD SDI	DVI-D	4K
Dot Phase	×	×	○	×	×	×
H Size	×	×	○	×	×	×
H Shift	○	○	○	○	○	×
V Shift	○	○	○	○	○	×

○：調整・設定できる項目
×：調整・設定できない項目

第5章 その他

ランプ交換の目安

光源のランプの推奨使用時間は下記のとおりです。
SRX-S110：約 800 時間
SRX-S105：約 1,000 時間
「Control Function Menu」画面の [Lamp A]、[Lamp B] のバーが推奨使用時間に近づくと赤く表示されます。また、推奨使用時間に対する現在の使用時間の割合を表示します。目安としてご使用ください。

ランプの交換をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。
以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因	対処
電源が入らない。	主電源が入っていない。	本体左側面の電源スイッチを上側にしてください。(23 ページ)
	本機とプロジェクターコントロール用コンピューターの接続がはずれている。	接続ケーブルをしっかり接続してください。(18 ページ)
	クーリングユニットがはずれている。	お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

映像に関する項目

症状	原因	対処
映像が映らない。	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認してください。(20 ページ)
	入力モードが正しく設定されていない。	「SCREEN CONTROL」画面で入力モードが正しく設定されているか確認してください。(25 ページ)
	映像がミューティングされている。	「SCREEN CONTROL」画面の [CUT OFF] ボタンまたは [MUTING OFF] ボタンをクリックするか (25 ページ)、リモートコマンダーの MUTING ボタンを押してください。(24 ページ)
	周囲の温度が高い。	周囲の温度が本機の使用温度範囲（5 ～ 35 ℃）になるように、室温調整をしてください。
色がおかしい。	入力信号モードが正しく設定されていない。	入力信号に合わせて、「PICTURE CONTROL」画面で [Input Source] の [Signal Mode] を正しく設定してください。(28 ページ)
画面が暗い。	コントラスト、ブライトネスの設定が正しくない。	「PICTURE CONTROL」画面で [Contrast] と [Brightness] を正しく設定してください。(29 ページ) または、リモートコマンダーの CONTR ボタンと BRIGHT ボタンで調整してください。(12 ページ)
	ランプモードが最適でない。	「INSTALLATION」画面の [LAMP SELECT] または [LAMP POWER] を正しく設定してください。(32 ページ)
画面表示が出ない。	画面表示の設定が [OFF] になっている。	「SCREEN CONTROL」画面の [OSD ON] ボタンをクリックしてください。(12 ページ)

コントロール系に関する項目

症状	原因	対処
Control Function Menu 画面が起動しない。	本機とプロジェクターコントロール用コンピューターが正しく接続されていない。	接続ケーブルを正しく接続してください。(18 ページ)
リモートコマンダーが動作しない。	受光部がはずれている。	お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。

エラーメッセージ

以下のメッセージが、本体左側面の STATUS MESSAGE（ステータスメッセージ）表示窓と SRX Controller の Error（エラー）表示部に表示されます。2 つ以上のメッセージが表示される場合は、5 秒おきにメッセージが変わります。メッセージが表示された場合は、番号とメッセージをお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお知らせください。

No.	エラーメッセージ	意味
1	INPUT-A POWER ALERT	INPUT A 基板の電源が故障。
2	INPUT-B POWER ALERT	INPUT B 基板の電源が故障。
3	INPUT-C POWER ALERT	INPUT C 基板の電源が故障。
4	INPUT-D POWER ALERT	INPUT D 基板の電源が故障。
5	PR-284_1 POWER ALERT	最上段の PR-284 基板の電源が故障。
6	PR-284_2 POWER ALERT	2 段目の PR-284 基板の電源が故障。
7	PR-284_3 POWER ALERT	3 段段の PR-284 基板の電源が故障。
8	PR-284_4 POWER ALERT	最下段の PR-284 基板の電源が故障。
9	24V POWER SUPPLY ALERT	本体電源からの 24 V 供給が故障。
10	16V POWER SUPPLY ALERT	本体電源からの 16 V 供給が故障。
11	PR-284_1 DETACHED	PR-284 基板が最上段に正しく挿入されていない。
12	SXRD PANEL TEMPERATURE ALERT	パネルの温度異常。
13	LAMP_A FAN ALERT	Lamp A 用シロッコファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
14	LAMP_B FAN ALERT	Lamp B 用シロッコファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
15	LAMP_A POWER SUPPLY UNIT FAN ALERT	Lamp A 電源（バラスト）用ファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
16	LAMP_B POWER SUPPLY UNIT FAN ALERT	Lamp B 電源（バラスト）用ファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
17	PR-284 FAN FAILURE	PR-284 基板用軸流ファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
18	OPTICAL UNIT TEMPERATURE ALERT	光学ユニットの温度異常、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
19	LAMP_A TEMPERATURE ALERT	Lamp A の温度異常、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
20	LAMP_B TEMPERATURE ALERT	Lamp B の温度異常、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
21	LAMP_A HOUSE DETACHED	Lamp A ハウスがはずれた、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
22	LAMP_B HOUSE DETACHED	Lamp B ハウスがはずれた、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
23	REAR COVER DETACHED	リアカバーが開放されている、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
24	LAMP_A POWER SUPPLY UNIT ALERT	Lamp A 電源（バラスト）の一時的な温度異常、もしくは故障。
25	LAMP_B POWER SUPPLY UNIT ALERT	Lamp B 電源（バラスト）の一時的な温度異常、もしくは故障。
26	LAMP_A IGNITION FAILURE	Lamp A の点灯故障。
27	LAMP_B IGNITION FAILURE	Lamp B の点灯故障。
28	CPU ALERT	SY-321 基板のメイン CPU（IC301）の故障、ハングアップ。
29	MUTING OFF FAILURE DOUSER OPEN FAILURE	シャッターの開閉故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
30	INPUT BOARD FAN FAILURE	INPUT-A/B/C/D 横の軸流 FAN の故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
31	REAR FAN ALERT	リア用巨大軸流ファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは抜けまたは断線。
32	LOW REAL TIME CLOCK BATTERY	SY-321 基板のボタン電池（BT201）の交換が必要。
33	FPGA CONFIG FAILURE	本体内部の回線動作不良。
34	IIC FAILURE	本体内部の回線動作不良。
35	LAMP_A ALERT	Lamp A が推奨交換時間を経過した。
36	LAMP_B ALERT	Lamp B が推奨交換時間を経過した。
37	LAMP_A WARNING	Lamp A が推奨交換時間の 8 割を経過した。
38	LAMP_B WARNING	Lamp B が推奨交換時間の 8 割を経過した。
39	DATA LOAD FAILURE LENS POSITION SENSOR	登録した設定値にレンズ位置を合わせることができなかった。
40	PS FAN FAILURE	PS コンバーター用ファンの故障、もしくはハーネスの抜けまたは断線。
41	DVI SIGNAL FAILURE	メニューの設定と入力信号の不一致、もしくはケーブルの抜けまたは断線。

本機の性能を保持するために

異常音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

·集光形のダウンライトにする。
·蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
·太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
·光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをプロジェクター本体から抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。

結露について

結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを ➡ この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは ➡ お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は ➡ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は ➡ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　SXRD（Silicon X-tal Reflective Display）
3 板式プリズム色分解合成方式
SXRD　8,847,360 画素（水平 4096 ×垂直 2160 × 3）
レンズ　別売り
光出力　SRX-S110：10,000 ANSI [1] lm ± 10%（工場出荷時）
SRX-S105：5,000 ANSI [1] lm ± 10%（工場出荷時）
ランプ　SRX-S110：2 kW キセノンランプ（別売り）× 2
SRX-S105：1 kW キセノンランプ（別売り）× 2

1) ANSI 基準ルーメンは、American National Standard IT7.228 に定められた測定方法によります。

電気系

対応信号　DVI-D、XGA、QVGA、SXGA、SXGA+、UXGA、HD、2048 × 1080（標準装備および DVI インターフェースボード LKRI-004 装着時）
コンポーネント、XGA、SXGA、UXGA、HD（アナログインプットボード LKRI-001装着時）
HD-SDI（SMPTE 規格信号）（HD-SDI（4:2:2）インプットボード LKRI-002 装着時）
HD-SDI（SMPTE 規格信号）（HD-SDI（4:4:4）インプットボード LKRI-003 装着時）

入／出力

DVI-D　DVI コネクター 24 ピン（凸）（◆「ピン配列」参照）
AUX　DVI コネクター 24 ピン（凸）（◆「ピン配列」参照）
INTER LOCK
ミニジャック
ショート時ノーマル動作
オープン時ランプオフ
RS232C　D-sub 9 ピン（凹）（◆「ピン配列」参照）
ETHERNET
10BASE-T/100BASE-TX

受信信号

標準装備　DVI-D、XGA、QVGA、SXGA、SXGA+、UXGA、HD、2048 × 1080
LKRI-001 装着時
アナログ RGB/ コンポーネント：BNC 型
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB 正極性、（75Ω 終端）
G/G SYNC：0.7 Vp-p ± 2 dB 正極性、（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負、（75Ω 終端）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB 正極性、（75Ω 終端）
SYNC/HD：複合同期入力：0.6 ～ 8 Vp-p 、ハイインピーダンス、正負極性
水平同期入力：0.6 ～ 8 Vp-p 、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：0.6 ～ 8 Vp-p 、ハイインピーダンス、正負極性
HDTV（YP_bP_r）：BNC 型
Y：1 Vp-p ± 2 dB 正極性、（75Ω 終端）
三値同期信号：± 0.3 Vp-p
二値同期信号：0.3 Vp-p
P_b/P_r：± 0.35 Vp-p ± 2 dB 正極性、（75Ω 終端）
HDTV（GBR）：BNC 型
同期付 G：1 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
三値同期信号：± 0.3 Vp-p
二値同期信号：0.3 Vp-p
B/R（GBR）：0.7 Vp-p ± 2 dB 正極性（75Ω 終端）
LKRI-002 装着時
SMPTE Format HD
LKRI-003 装着時
SMPTE Format HD-SDI/DC-SDI/Dual-link HD-SDI/Dual-link DC-SDI
LKRI-004 装着時
DVI-D、XGA、QVGA、SXGA、SXGA+、UXGA、HD、
2048 × 1080

一般

最大外形寸法
740 × 500 × 1320 mm（幅／高さ／奥行き）
質量　約 110 kg（別売りのレンズ、ランプ含まず）
電源　SRX-S110：AC 200 ～ 240 V、50/60 Hz
SRX-S105：AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力　SRX-S110：最大約 5.4 kW（スタンバイモード時：40 W）
SRX-S105：最大約 3.0 kW（スタンバイモード時：40 W）
消費電流　SRX-S110：30 ～ 22 A
SRX-S105：30 ～ 12.5 A
動作温度　5 ～ 35 ℃（より良い画質を提供するため、約 20 分間のエージングを推奨）
性能保証温度
10 ～ 30 ℃
動作湿度　35 ～ 85 %（結露なきこと）
保存温度　－ 20 ～ + 60 ℃
付属品　リモートコマンダー RM-PJ4K（1）
単 3 形乾電池（2）
SRX Controller（CD-ROM）（1）
イーサネットケーブル
（クロスケーブル：Sony 製 1-830-803-11）（1）
レンズ取り付け用 M8 ネジ（4）
取扱説明書（1）
特約店様用設置説明書（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）

保証書（1）

この装置は、情報処理装置等電波傷害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は「高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。（SRX-S105 のみ）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクションランプハウス
- LKRX-B110（SRX-S110 用）
- LKRX-B105（SRX-S105 用）

プロジェクションランプバルブ
- LKRX-110（SRX-S110 用）
- LKRX-105（SRX-S105 用）

アナログインプットボード
- LKRI-001（アナログ RGB/ コンポーネント / ハイビジョン：5BNC 型）

HD-SDI（4:2:2）インプットボード
- LKRI-002（HD-SDI：2BNC 型）

HD-SDI（4:4:4）インプットボード
- LKRI-003（HD-SDI：4BNC 型）

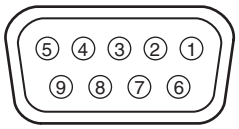
DVI インターフェースボード
- LKRI-004（2DVI-D 端子）

プロジェクションレンズ
- LKRL-Z115（1.48 ～ 1.81 倍ズームレンズ）
- LKRL-Z117（1.72 ～ 2.39 倍ズーム / フォーカスメモリー機能付きズームレンズ）
- LKRL-Z119（1.81 ～ 2.94 倍ズーム / フォーカスメモリー機能付きズームレンズ）
- LKRL-Z122（2.33 ～ 3.96 倍ズーム / フォーカスメモリー機能付きズームレンズ）
- LKRL-Z140（3.81 ～ 7.12 倍ズームレンズ）
- LKRL-90（0.9 倍固定焦点レンズ）

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

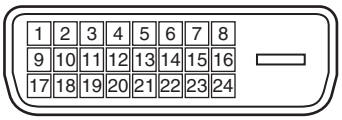
RS232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）



ピン番号	信号名	意味
1	NC	
2	RD	受信
3	TD	送信
4	DTR*	データターミナルレディ
5	GND	接地
6	DSR*	データセットレディ
7	RTS**	送信要求
8	CTS**	送信可
9	NC	

* 4-6 間はセット内部でショートしてあります。
** 7-8 間はセット内部でショートしてあります。

DVI-D 端子、AUX 端子（24 ピン、凸）



ピン番号	信号名
1	DATA2 −
2	DATA2 +
3	GND
4	DATA4 −
5	DATA4 +
6	DDC_SCL
7	DDC_SDA
8	NC
9	DATA1 −
10	DATA1 +
11	GND
12	DATA3 −
13	DATA3 +
14	+ 5V
15	DDC_GND
16	HOTPLUG_DET
17	DATA0 −
18	DATA0 +
19	GND
20	DATA5 −
21	DATA5 +
22	GND
23	CLK +
24	CLK −

プリセット信号一覧

プリセット信号	fH (kHz)	fV (Hz)	アスペクト比
VIDEO60	15.73	59.94	4:3
VIDEO50	15.63	50.00	4:3
HDTV	33.75	60.00	16:9
1024 × 768_VESA60	48.36	60.00	4:3
1024 × 768_VESA70	56.48	70.07	4:3
1024 × 768_VESA75	60.02	75.03	4:3
1024 × 768_VESA85	68.68	85.00	4:3
1280 × 960_VESA60	60.00	60.00	4:3
1280 × 1024_VESA60	63.97	60.01	5:4
1280 × 1024_VESA75	79.98	75.03	5:4
1280 × 1024_VESA85	91.15	85.02	5:4
1600 × 1200_VESA60	75.00	60.00	4:3
720/60P	45.00	60.00	16:9
720/50P	37.50	50.00	16:9
1080/48I (24PsF)	27.00	48.00	16:9
1080/50I	28.13	50.00	16:9
1080_24P	27.00	24.00	16:9
DC2048 × 1080_48I	27.00	48.00	
DC2048 × 1080_24P	27.00	24.00	
1400 × 1050_60P	65.30	60.00	4:3
1920 × 1080_60P	67.50	60.00	16:9
1920 × 1200_60P	74.038	60.00	
2048 × 1080_48P	54.00	48.00	
2048 × 1080_60P	67.50	60.00	

マルチスクリーンモード時の画像表示サイズ

単位：dot（ドット）

スクリーンモード / 信号名	全画面		2画面		4画面	
	水平	垂直	水平	垂直	水平	垂直
VIDEO60	2880	2156	2003	1499	1440	1078
VIDEO50	2880	2146	2003	1504	1440	1073
XGA	2849	2137	2048	1536	1432	1074
SXGA1	2560	2048	2048	1638	1280	1024
SXGA2	2560	1920	2048	1536	1280	960
SXGA+	2800	2100	1400	1050	1400	1050
UXGA*	2864	2148	1600	1200	–	–
WUXGA*	3437	2148	1920	1200	–	–
720p	3810	2143	2048	1152	1280	720
HD	3840	2160	1920	1080	1920	1080
2K	4096	2160	2048	1080	2048	1080
4K	4096	2160	–	–	–	–

* UXGA および WUXGA の信号は 4 画面モードで表示すると、画像が一部欠けて表示されます。

索引

あ

アジャスター 15

え

映像を消す 24, 25
エラーメッセージ 36

か

概要..... 7
各部の名称と働き
　Control Function Menu 画面.... 10
　前面 / 上面..... 9
　左側面 / 後面 9
　リモートコマンダー 12
ガンマモード 30

き

吸気口 9

こ

故障かな？と思ったら 35

し

シフト調整する.....24, 31
仕様..... 38

す

ズーム調整する.....24, 31
スクリーンに画像を映す 23
スクリーンモード 23, 25

せ

接続
　HD-SDI 機器を接続する 21
　コントロール用コンピューターを接続する 18
　コンピューターを接続する（DVI-D 接続の場合）..... 20
　コンピューターを接続する（アナログ RGB 接続の場合）..... 21
　コンポーネント機器を接続する 22
接続モード..... 20
設置・使用時のご注意..... 14
設置する..... 15
設定値をリセットする 27

て

電池の入れかた..... 13

は

排気口 9
ハンドルの使いかた 15

ひ

ピン配列 39

ふ

フォーカス調整する 24, 31
付属品.....38

へ

別売りアクセサリー 39

ほ

保証書とアフターサービス 37
本機の性能を保持するために.....37
本機の特長.....7

ら

ランプ交換の目安.....34
ランプ出力.....32
ランプ選択.....32

り

リモートコマンダー
　各部の名称と働き.....12
　電池の入れかた 13
リモコン受光部 9

アルファベット順

B

Board.....28, 30

C

Color Space 30
Color Temp 30
COLOR/FRAME 画面 30
Control Function Menu 画面.....10
CUT OFF ボタン 25

D

Dot Phase 30

E

ELECTRIC V SHIFT FUNCTION .31
ETHERNET 端子.....18

F

Focus.....31
Frame Adjust.....30
FUNCTION 1 ～ 7 27

G

Gamma 30

H

H Shift..... 31
H Size..... 31
HD-SDI..... 21

I

I/P Mode..... 29
Input Source 28
INSTALLATION..... 32
INSTALLATION 画面 31

L

LAMP POWER..... 32
LAMP SELECT..... 32
LENS CONTROL 31

P

PICTURE CONTROL 画面 28
PROGRESSIVE DISPLAY MODE.. 32

R

RS232C 端子..... 18

S

SCREEN CONTROL 画面 11
Shift..... 31
Signal Adjust..... 29
Signal Info 29
Signal Mode 28
SQUEEZE 32
SRX Controller をインストールする 16
SRX Controller を起動する 19
SRX Controller を終了する 20
SRX Controller 画面で行う調整と設定..... 27

T

TEST PATTERN..... 32

V

V Shift..... 31

Z

Zoom 31

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material : Lithium battery contains perchlorate.

For the customers in Europe

WARNING

This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Pour les utilisateurs en Europe

AVERTISSEMENT

Il s'agit d'un produit de Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.

Für Kunden in Europa

Warnung

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür anfzukommen.

Voor de Klanten in Nederland

- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer"

oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

Table of Contents

Chapter 1 Overview

Precautions 46
Using the CD-ROM Manual 47
Preparations 47
Reading the CD-ROM Manual 47
Features 48
Location and Function of Controls 49
Front/Top 49
Left Side/Rear 49
Control Function Menu Window 50
Remote Commander 52

Chapter 2 Preparations

Precautions on Installation 54
Unsuitable Installation 54
Unsuitable Conditions 55
Installation 55
Using the Carrying Handles 55
Using the Adjusters 55
Installing the Projector 56
Installing the SRX Controller in a Computer for Controlling the Projector 56
System Requirements 56
Installing the SRX Controller 56
Connecting a Computer for Controlling the Projector 58
Connecting the Computer via the Ethernet 58
Connecting the Computer via the RS-232C 59
Starting the SRX Controller 59
Starting the SRX Controller 59
Changing the Connection Mode 60
Connecting the Projector 61
Connecting a Computer Equipped With a DVI Connector 61
Connecting with a Computer Equipped With an Analog RGB Output 62
Connecting with HD-SDI Equipment 62
Connecting with Component/Video GBR Equipment 62

Chapter 3 Projecting

Projecting the Picture 64
Using the Remote Commander 64
Using the Computer for Controlling the Projector 66

Chapter 4 Adjustments and Settings Using the SRX Controller

Displaying the Control Function Menu Window 68
PICTURE CONTROL Window 69
Board 69
Input Source 69
Signal Info (Information) 70
Signal Adjust 70
COLOR/FRAME Window 71
Board 71
Color 71
Frame Adjust 71
INSTALLATION Window 72
LENS CONTROL 72
ELECTRIC V SHIFT FUNCTION 72
SQUEEZE 73
PROGRESSIVE DISPLAY MODE 73
LAMP POWER 73
INSTALLATION 73
LAMP SELECT 73
TEST PATTERN 73
Input Signals And Adjustable/Setting Items 74

GB

Chapter 5 Others

Lamp Life 75
Troubleshooting 76
Error Messages 77
Specifications 79
Index 83

Chapter 1 Overview

Precautions

On safety

- Operate the unit on 200 – 240 V AC, 50/60 Hz (SRX-S110), or 100 – 240 V AC, 50/60 Hz (SRX-S105).
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by your Sony dealer before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet or set the power switch to the lower position if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet and the power switch is set to the upper position.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes. The air coming out is hot.
- Have at least four people carry and handle the projector, to avoid accidents or injury.
- Avoid using an extension cord with a low voltage limit, as it may cause short-circuiting and physical injury.
- To carry the projector, be sure to use the carrying handles. Do not hold other parts of the projector, especially the lens, nor catch your finger between the handle, floor, and the projector.
- Do not catch your finger between the unit and surface of the floor when moving the projector installed on the floor.
- Be careful not to catch your finger in the cooling fan.
- Since an intense light has come out of this projector from the front, do not stand on the front of a projector for a long time.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. Leave space of more than 100 cm (39 3/8 inches) between the wall and the projector. Be aware that room heat rises to the ceiling; check that the temperature near the installation location is not excessive.
- Install the projector on the floor or hang it from the ceiling. Any other installation causes a malfunction such as color irregularity or a shorten lamp life.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or humidity, mechanical vibration or shock.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

On illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the projector in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

On preventing internal heat build-up

After turning off the power, the cooling fan runs for about 10 minutes while the STATUS LAMP indicator flashes in green.

Caution

The projector is equipped with ventilation holes (intake) at the front, upper side and right side, and ventilation holes (exhaust) at the rear and upper side.
Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the projector.

On cleaning

- To keep the cabinet looking new, periodically clean it with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner, benzene, or abrasive cleansers, since these will damage the cabinet.
- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.

On repacking

Save the original shipping carton and packing material; they will come in handy if you ever have to ship your unit. For maximum protection, repack your unit as it was originally packed at the factory.

Using the CD-ROM Manual

The supplied CD-ROM includes versions of the Operating Instructions for the SRX-S110/S105 in English, Japanese, French, German, Italian, Spanish, and Chinese in PDF format.

Preparations

The following program must be installed on your computer in order to read the Operating Instructions contained on the CD-ROM.

- Adobe Reader Version 6.0 or higher

Memo

If Adobe Reader is not installed, you can download it from the following URL:
http://www.adobe.com/

Adobe and Adobe Reader are trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Reading the CD-ROM Manual

To read the Operating Instructions contained on the CD-ROM, do the following.

1 Insert the CD-ROM in your CD-ROM drive.

A cover page appears automatically in your browser. If it does not appear automatically in the browser, double-click on the index.htm file on the CD-ROM.

2 Select and click on the Operating Instructions that you want to read.

This opens the PDF file of the Operating Instructions.

Memo

The files may not be displayed properly, depending on the version of Acrobat Reader. In such a case, install the latest version you can download from the URL mentioned in *"Preparations"* above.

Note

If you have lost or damaged the CD-ROM, you can purchase a new one to replace it. Contact your Sony dealer.

Features

High Brightness, High Picture Quality

High brightness
The SRX-S110 uses two 2kW Xenon lamps as a light source, and the SRX-S105 uses two 1kW Xenon lamps. These compact-size Xenon lamps provide high brightness of 10,000 ANSI lumens for the SRX-S110 and 5,000 ANSI lumens for the SRX-S105, assuring excellent uniformity on the entire screen.

High resolution
Sony's new, unique three SXRD™ (Silicon X-tal Reflective Display) panels with about 8,850,000 pixels realizes a high-resolution of 4096 × 2160 dots. The resolution corresponds to four times that of an HDTV image.

Multi-screen mode
The high resolution of the projector enables single-, dual- and quad-mode projection in which full HD images can be displayed even in each of two or four divided screens. Images from different input sources can be displayed in these divided screens simultaneously.

High contrast ratio
The combination of the SXRD imaging devices and 3PBS optical devices offers a high contrast ratio of more than 1800:1.

Gamma correction circuit
Three types of gamma correction circuit, 1.8, 2.2 and 2.6, are selectable according to the signal input, allowing projection of an image with optimum brightness.

Color space feature
The projector supports three standards of color tonal reproduction range, 709, DCDM and CIEXYZ, allowing you to obtain an image with precise color reproduction according to the input sources.

Squeeze function
A squeezed signal with a 4:3 aspect ratio is stretched horizontally to fit a 16:9 screen, and a signal with a 16:9 aspect ratio is stretched horizontally to fit a 2.39:1 screen. This function is available only for projection in single-screen mode and may not work depending on the signal type input.

Flexible and Reliable System

Dual lamp system
The projector adopts a dual lamp system for versatility of use. You can select dual-lamp or single-lamp mode, and can reduce each lamp's power output. These modes allow you to save power and increase lamp life. Also, if one bulb burns out, the other keeps projecting images.

Versatile Setup

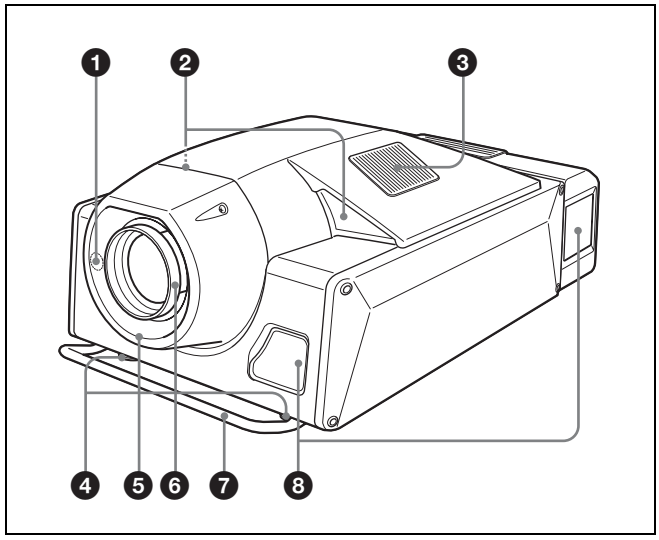
Equipped with DVI-D input
The projector is equipped with DVI-D input connectors, enabling reception of progressive DVI signals. This allows you to project a picture for a simulation system or a large-scale presentation only by inputting the DVI-D signals from a computer, etc. equipped with a DVI-D output.

Various signal input
The projector is equipped with an RS232C connector and ETHERNET connector for communication. For signal inputs, the projector has three slots to which the optional analog input boards, HD-SDI input boards and DVI-D interface boards can be attached according to your requirement.

Optional lens
Optional zoom lenses are available depending on the projection distance you are setting up. The lens shift function of this projector enables easy setup.
When the optional zoom lens equipped with zoom/focus memory function is installed, you can register the zoom and focus settings adjusted to fit the desired screen size. Registration of the settings adjusted for screen sizes of aspect ratio of 4:3 and 16:9 allows you to switch between them easily with the buttons in the window of the SRX Controller.

Location and Function of Controls

Front/Top



1 Remote control detector (front)

2 Upper side ventilation holes (intake)

3 Upper side ventilation holes (exhaust)

4 Adjusters
Use to keep the projector level if it is installed on an uneven surface.

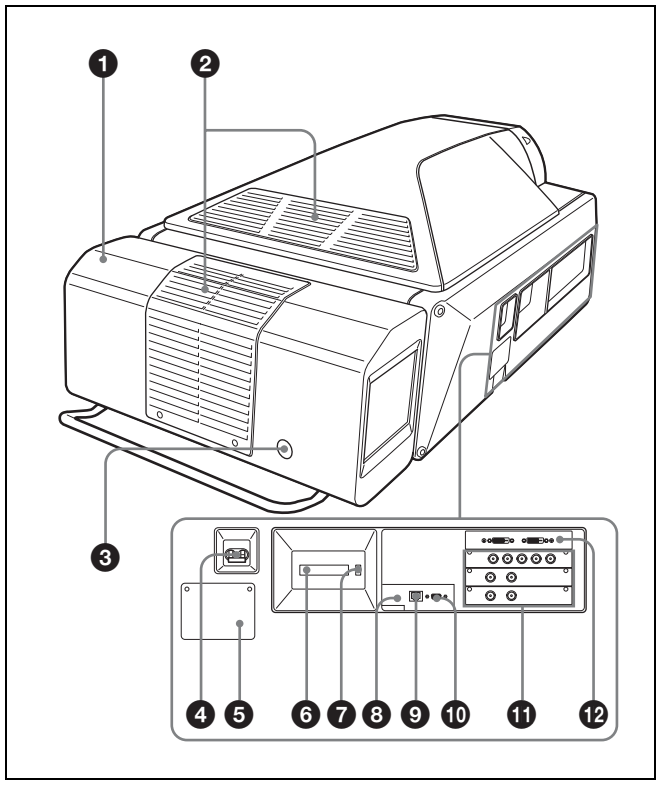
5 Lens cover

6 Lens mount part
When attaching the optional lens, consult your Sony dealer.

7 Carrying handle
Use to carry the projector. There is another handle on the rear side.

8 Front/right side ventilation holes (intake)

Left Side/Rear



1 Cooling unit
A cooling fan and the two lamp houses (these are not supplied) are installed here.
For installation and replacement of a lamp house, consult your Sony dealer.

2 Upper/rear side ventilation holes (exhaust)

3 Remote control detector (rear)

4 Power switch
Set the switch to the upper position to turn on the main power of the projector. To turn it off, set the switch to the lower position.

5 AC IN terminal board
Connect the AC power cord with three wires (not supplied).
For connection of the AC power cord, contact your Sony dealer.

6 STATUS MESSAGE window
Displays an error message. If the message is displayed, contact your Sony dealer.

7 STATUS LAMP indicator
Lights red when the projector is in standby mode. When the power is turned on, it lights green. The indicator flashes for about 10 minutes after the power is turned off by clicking "POWER STANDBY ⏻" in the Control Function

Menu window or by pressing the ⏻ button on the Remote Commander.

❽ INTER LOCK jack (minijack)
Connects to the external emergency switch.
When you use the interlock function, insert the mini-plug into this jack to open the + and – terminals. The projector's lamps will be turned off immediately. When not in use, do not insert the mini-plug.

❾ ETHERNET connector (10BASE-T/100BASE-TX)
Connect to the ethernet connector on a computer in which the supplied SRX Controller is installed. You can control the projector from the computer.

❿ RS232C connector (D-sub 9-pin, female)
Connect to the RS-232C connector on a computer in which the supplied SRX Controller is installed. You can control the projector from the computer.

⓫ Input board attachment parts
Depending on the input sources, attach the optional input board to each slot. They are arranged in order of INPUT B, INPUT C and INPUT D from the top.

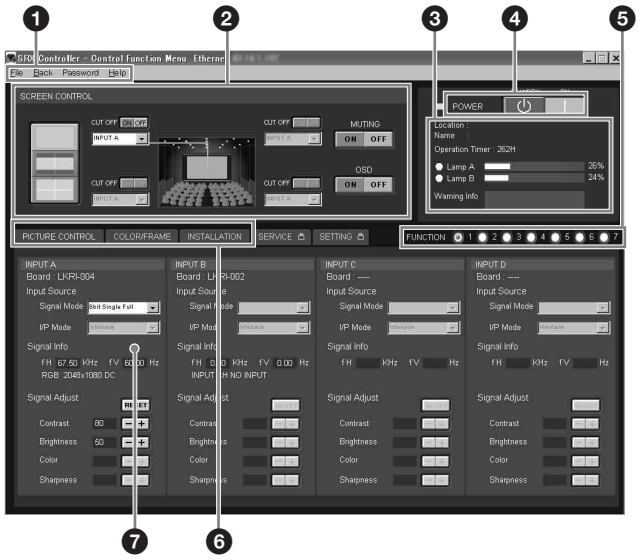
For attachment, contact your Sony dealer.

⓬ INPUT A (DVI interface board attached at the factory)
DVI-D connector (24-pin DVI connector, male): Inputs progressive DVI signals.
AUX connector (24-pin DVI connector, male): Used for input extension. For details on connecting devices compatible with the connector, please consult your Sony dealer.

Control Function Menu Window

When you install the supplied SRX Controller in your computer, you can operate all of the features of the projector in your computer window. This section explains the functions of the parts for projecting an image on the screen.

For the windows used for the settings and adjustments, see "Adjustments and Settings Using the SRX Controller" on page 68.



❶ Menu bar

File menu
Selecting "Quit" from the File menu exits the SRX Controller.

Back menu
Click to return to the Browser Screen window of the SRX Controller.

Password menu
Use to reset the authentication passwords required for displaying the SETTING window and the SERVICE window. The Password menu can be displayed only when an authorized administrator starts the SRX Controller on the computer for controlling the projector.

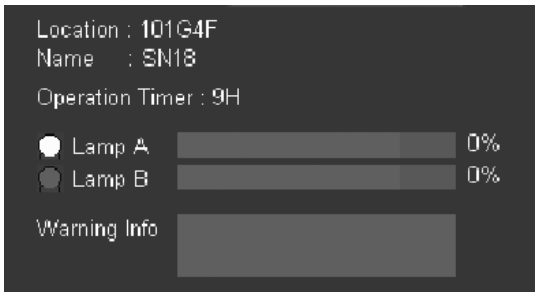
For details on the SETTING window and the SERVICE window, refer to the Installation Manual for Dealers.

Help menu
Shows the version information of the SRX Controller and the serial number of the projector.

❷ SCREEN CONTROL window

For details, see "SCREEN CONTROL window" on page 51.

❸ Information window



Location: Shows the location where the projector is installed, as set in the SETTING window at the time of installation.

Name: Shows the name of the projector that was set in the SETTING window at the time of installation.

Operation Timer: Shows the operation hours of the projector.

Lamp A/Lamp B: Shows an approximate percentage to indicate the time used before the recommended time for replacement of each projection lamp (i.e. 100% indicates the time for replacement). The indicator on the left lights when the corresponding lamp turns on. It does not light when the corresponding lamp turns off.

Warning Info: Displays an error message if there is any warning information on the projector. The same message is displayed in the STATUS MESSAGE window on the left side of the projector.

❹ POWER ON/STANDBY (I/⏻) buttons and POWER indicator

Click ON to turn on the lamp. The indicator lights green. Clicking STANDBY opens the confirmation dialog. Clicking "OK" makes the projector enter standby mode. The indicator flashes green. Even in standby mode, the fans continue to run to reduce internal heat. When the fans stop running, the indicator lights red.

❺ FUNCTION 1 to 7 radio buttons

Register the data set or adjusted in the Control Function Menu windows to these buttons, and recall it later to project an image with that setting.

The setting items that can be registered are as follows:

- Screen mode and input signal settings in the SCREEN CONTROL window
- "Input Source" and "Signal Adjust" settings in the PICTURE CONTROL window
- "Color" settings in the COLOR/FRAME window
- "ELECTRIC V SHIFT FUNCTION," "SQUEEZE," "PROGRESSIVE DISPLAY MODE," "LAMP POWER" and "LAMP SELECT" settings, and "LENS CONTROL" settings when the optional lens equipped with zoom/focus memory function is installed, in the INSTALLATION window

For details, see "To register the settings that have been adjusted" on page 68.

❻ Window select buttons

Open the window with the items you want to set or adjust.

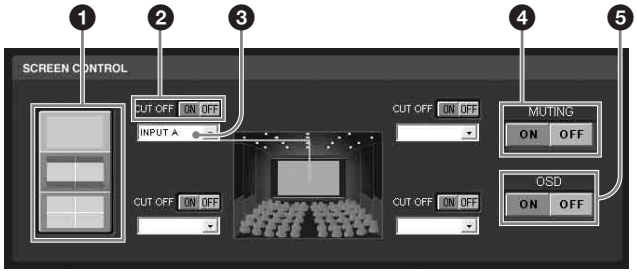
❼ Adjustment/setting window

Clicking the window select button switches the window for the adjustment and setting.

The "PICTURE CONTROL," "COLOR/FRAME" and "INSTALLATION" windows can be displayed.

For details on each window, see "Adjustments and Settings Using the SRX Controller" on page 68.

SCREEN CONTROL window



❶ Screen mode buttons

Select single-, dual- or quad-screen mode for multiple display mode. Click for single, for dual and for quad mode.

❷ CUT OFF "ON/OFF" buttons

Click the ON button to cut off the picture momentarily. Click the OFF button to restore the picture.

The SCREEN CONTROL window changes depending on the screen mode selected with the screen mode button (❶). When dual- or quad-screen mode is selected, the buttons function independently on each divided screen.

❸ Input signal select drop-down list box

Selects the input signal you want to project on the screen.

The SCREEN CONTROL window changes depending on the screen mode selected with the screen mode button (❶). When dual- or quad-screen mode is selected, you can select the input independently on each divided screen.

INPUT A: Selects the signal input from the DVI-D connectors on INPUT A.

INPUT B: Selects the signal input from the connectors on the optional input board installed in the INPUT B section.

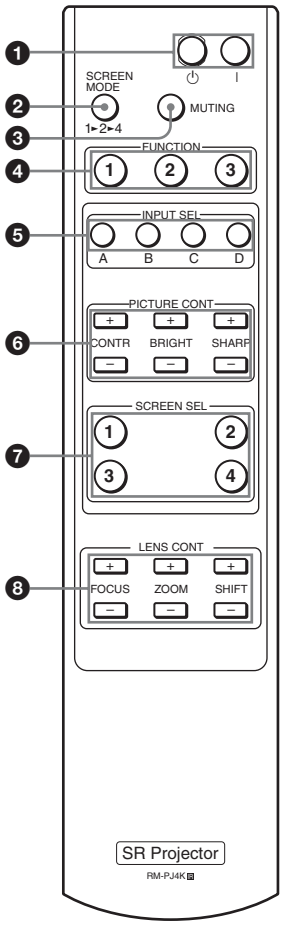
INPUT C: Selects the signal input from the connectors on the optional input board installed in the INPUT C section.

INPUT D: Selects the signal input from the connectors on the optional input board installed in the INPUT D section.

❹ MUTING ON/OFF buttons
Clicking the ON button cuts off the whole picture on the screen momentarily. Click the OFF button to restore the picture. Activating the muting function blocks off lamp light completely by use of a shutter, and displays the black signal on the whole screen.

❺ OSD ON/OFF buttons
Click the OFF button to eliminate the on-screen display. Click the ON button to display it on the screen.
The setting using the buttons also functions when you operate the projector with the Remote Commander.

Remote Commander



❶ I/⏻ (power on/standby) buttons
I: Press to turn on the projector.
⏻: Press to make the projector enter standby mode.

❷ SCREEN MODE button
Selects single-, dual- or quad-screen. Each press of the button changes the mode, 1 (single), 2 (dual) and 4 (quad), in this order.

❸ MUTING button
Press to cut off the whole picture on the screen. Press it again to restore the picture. Activating the muting function shuts off from lamp light completely using a shutter, and displays the black signal on the whole screen.

❹ FUNCTION 1/2/3 buttons
Use these buttons in synchronization with the FUNCTION 1, 2 and 3 buttons in the Control Function Menu window of the SRX Controller. You can recall the data set or adjusted with the SRX Controller. You cannot recall settings registered in FUNCTION buttons 4 to 7.

❺ INPUT SEL A/B/C/D buttons
Select the input source you want to project or operate.
A: Selects the signal input from the DVI-D connectors on INPUT A.
B: Selects the signal input from the connectors on the optional input board installed in the INPUT B section.
C: Selects the signal input from the connectors on the optional input board installed in the INPUT C section.
D: Selects the signal input from the connectors on the optional input board installed in the INPUT D section.

Use these buttons together with the PICTURE CONT buttons (❻) or SCREEN SEL buttons (❼).
Example: When you want to increase the contrast of the signal input from INPUT A, press INPUT SEL A button, then press the CONTR + button.

❻ PICTURE CONT (Picture control) buttons
Adjust the projected picture quality.
CONTR+/–: Adjust the contrast. Pressing the + button increases the contrast. Pressing the – button decreases the contrast.
BRIGHT +/–: Adjust the picture brightness. Pressing the + button makes the picture brighter. Pressing the – button makes the picture darker.
SHARP +/–: Adjust the picture sharpness. Pressing the + button makes the picture sharper. Pressing the – button makes the picture softer.

In multiple screen mode, adjustment can be made for the input signal from INPUT A or each input board.
Select the input signal with the INPUT SEL A/B/C/D buttons (❺), then adjust the picture with these buttons. In single-screen mode, you need not press the INPUT SEL button.
Example: When you want to increase the contrast for the signal input from INPUT A, press the INPUT SEL A button, then press the CONTR + button.

❼ SCREEN SEL buttons
In multiple screen mode, select one of the divided screens where you want to project the selected signal from each input.

Select the input signal with one of the INPUT SEL A/B/C/D buttons (❺), then select the screen with one of these buttons.

Example: When you want to project the signal input from the INPUT B board on Screen 3 (lower left screen), press the INPUT SEL B button, then press the SCREEN SEL 3 button.

❽ LENS CONT buttons

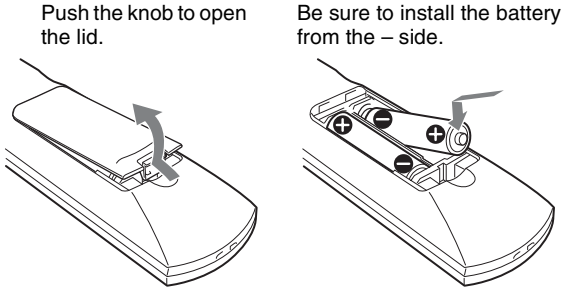
FOCUS +/–: Adjust the focus. Pressing the + button focuses on a picture further back. Pressing the – button focuses on a forward picture.

ZOOM +/–: Adjust the picture size. Pressing the + button enlarges the picture size. Pressing the – button reduces the picture size.

SHIFT +/–: Adjust the vertical picture position. Pressing the + button moves the picture upward. Pressing the – button moves the picture downward.

To install batteries

1 Remove the lid, then install the two size AA (R6) batteries (supplied) with the correct polarity.



2 Replace the lid.

Notes

- Be sure that there is nothing to obstruct the infrared beam between the Remote Commander and the projector. Direct the Remote Commander toward one of the remote control detectors at the front and rear of the projector when operating.
- The operation range is limited. The shorter the distance between the Remote Commander and the projector, the wider the angle within which the Commander can control the projector.

Preparations

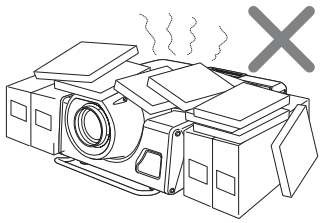
Chapter 2

Precautions on Installation

Unsuitable Installation

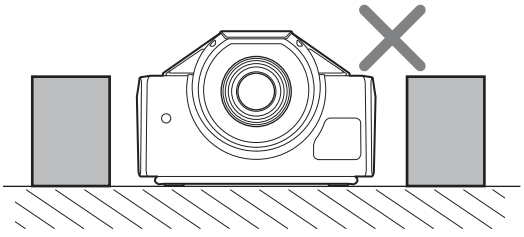
Do not install the projector in the following situations. Such installations may cause a malfunction or damage to the projector.

Poorly ventilated



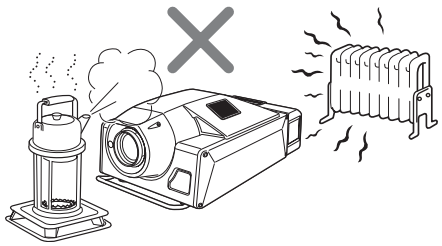
The projector is equipped with ventilation holes for intake and exhaust to prevent internal heat build-up. Do not place the projector in a place where the ventilation holes may be blocked.

Situation that may block the ventilation holes for exhaust

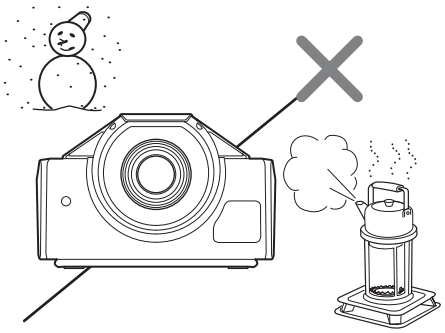


If you put something beside the ventilation holes for exhaust on the side or rear of the projector, the exhaust may be inhaled into the projector through the ventilation holes for intake, causing internal heat build-up and thereby activating the protection circuit. Be sure not to block the ventilation holes for exhaust. Leave a space of more than 1 m (39 3/8 inches) around the unit.

Extremely hot and humid

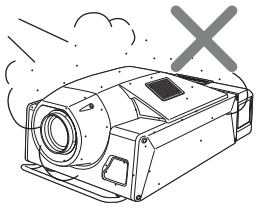


Location subject to sudden change of temperature



A sudden change of temperature may produce moisture condensation, causing damage to the projector. Take care with heaters or air-conditioners.

Very dusty

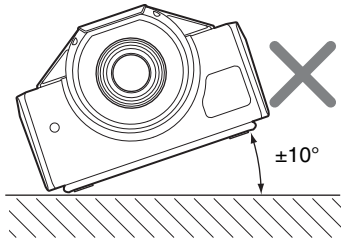


Unsuitable Conditions

Do not use the projector under the following conditions.

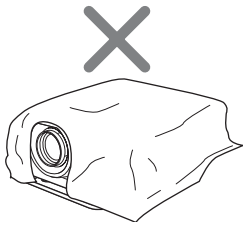
Laying the unit on its side or upside down

Tilting the unit to the right or left



Avoid tilting the projector more than ± 10 degrees, and avoid installing it in place other than a floor. Doing so may cause color shading or shorten the lamp life excessively.

Blocking the ventilation holes



Avoid using a thick-piled carpet or anything that covers the ventilation holes (exhaust/intake). Otherwise, internal heat may build up.

For the locations of the ventilation holes (exhaust/intake), see "Location and Function of Controls" on page 49.

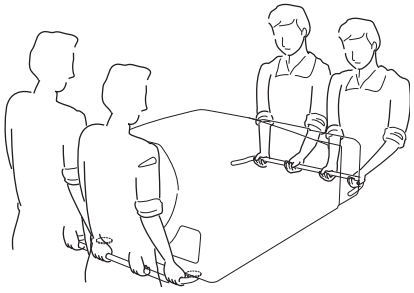
Installation

Using the Carrying Handles

Use the front and rear carrying handles to carry the projector.

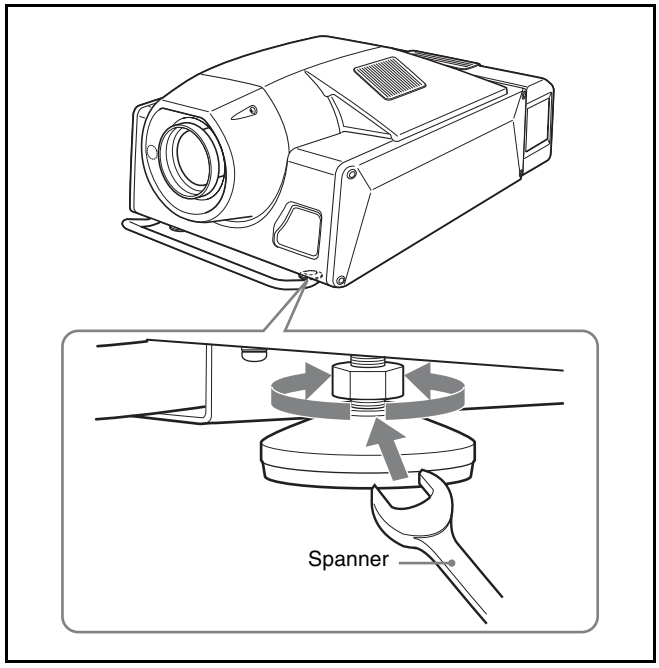
Caution

To avoid injury, have at least four people carry the projector using the front and rear handles.



Using the Adjusters

When the projector installation location is not horizontal, rotate the adjusters using a spanner so that the projector is placed horizontally. There are an adjuster on the right and one on the left.



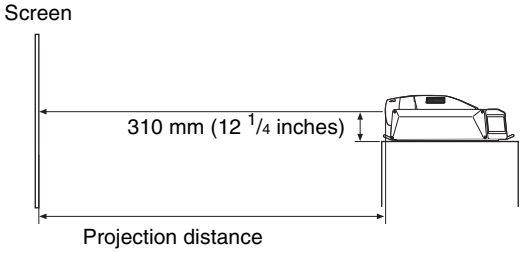
Caution

Do not turn the spanner forcibly when the screw has fully rotated. Otherwise, the spanner may slip and injure your hand.

Installing the Projector

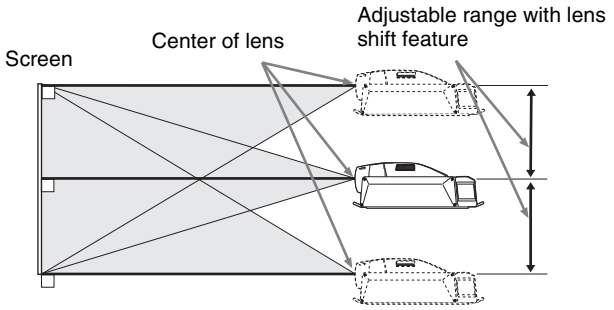
This section describes briefly how to install the projector on the floor. The distance between the center of the lens and the screen varies depending on the optional lens attached, the horizontal screen size or the input signal.

For details on installation examples with projection distances, see "Installation Manual for Dealers."

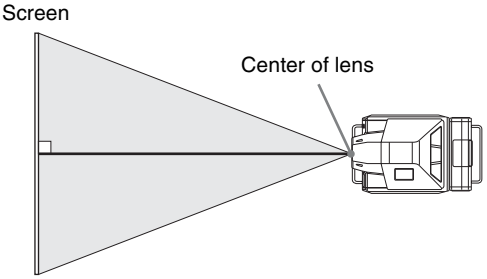


Vertical positioning (side view)

Install the projector so that the center of the lens is between the bottom edge and the top edge of the screen. You can move the picture position vertically by half of the screen vertical size using the lens shift adjustment.



Horizontal positioning (top view)



Installing the SRX Controller in a Computer for Controlling the Projector

If you install the supplied SRX Controller in a computer, you can control the projector from the computer.

System Requirements

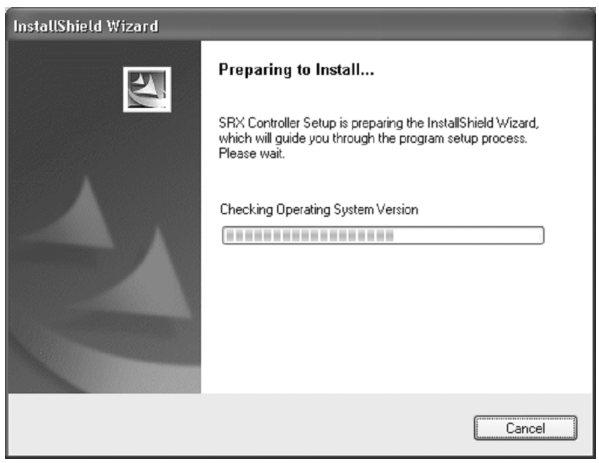
The following are required to operate the supplied SRX Controller.

- Computer: Intel Celeron CPU, 1 GHz or more
  - Installed memory: 256 MB or more
  - Communication: 10BASE-T/100BASE-TX
  - VGA: XGA (1024 × 768) or higher
  - HDD: Connected to a computer via the IDE port, Usable memory with 8 MB or more
  - CD-ROM drive: × 8 or faster
- Operating System: Microsoft Windows XP Professional SP2 (English or Japanese version)

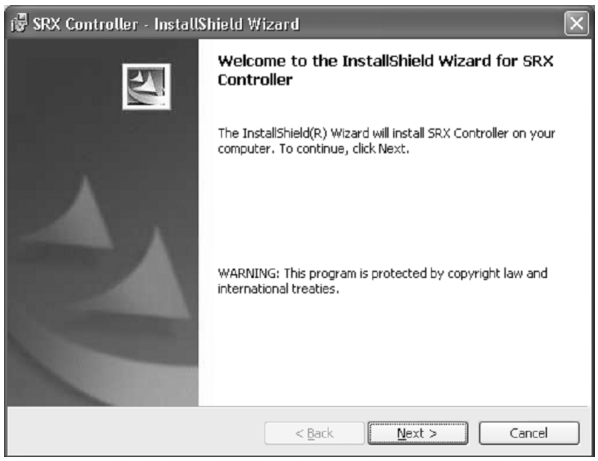
Installing the SRX Controller

1 Insert the supplied installation disc into the CD-ROM drive of a computer.

The setup.exe in the root folder of the installation disc starts, and the window for preparing the installation appears.

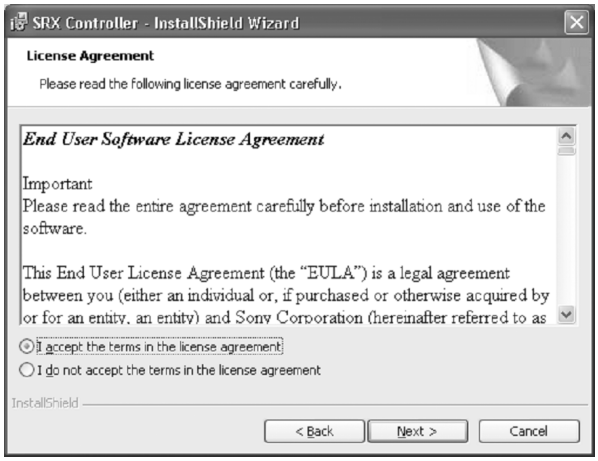

InstallShield Wizard
Preparing to Install...
SRX Controller Setup is preparing the InstallShield Wizard, which will guide you through the program setup process. Please wait.
Checking Operating System Version
Cancel

After a while, the Welcome page of the SRX Controller appears.


SRX Controller - InstallShield Wizard
Welcome to the InstallShield Wizard for SRX Controller
The InstallShield(R) Wizard will install SRX Controller on your computer. To continue, click Next.
WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties.
< Back
Next >
Cancel

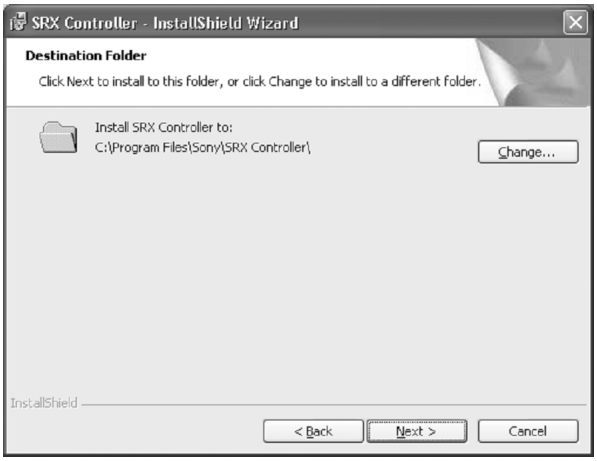
2 Click “Next.”

The License Agreement window appears.

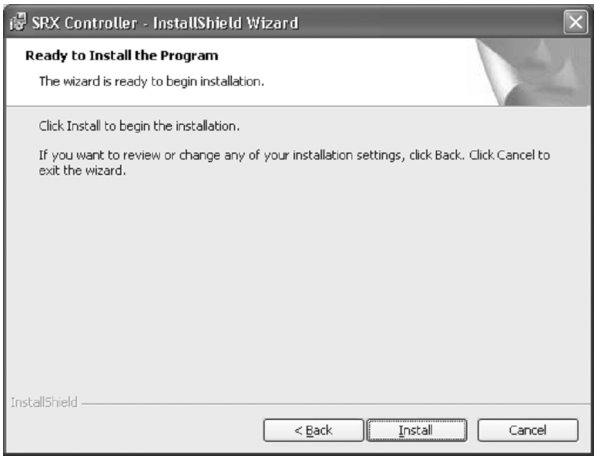

SRX Controller - InstallShield Wizard
License Agreement
Please read the following license agreement carefully.
End User Software License Agreement
Important
Please read the entire agreement carefully before installation and use of the software.
This End User License Agreement (the “EULA”) is a legal agreement between you (either an individual or, if purchased or otherwise acquired by or for an entity, an entity) and Sony Corporation (hereinafter referred to as
I accept the terms in the license agreement
I do not accept the terms in the license agreement
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

3 Read the license agreement, click “I accept…” if you agree to be bound by the terms, and click “Next.”

The select window of the destination folder in which to install the SRX Controller appears.

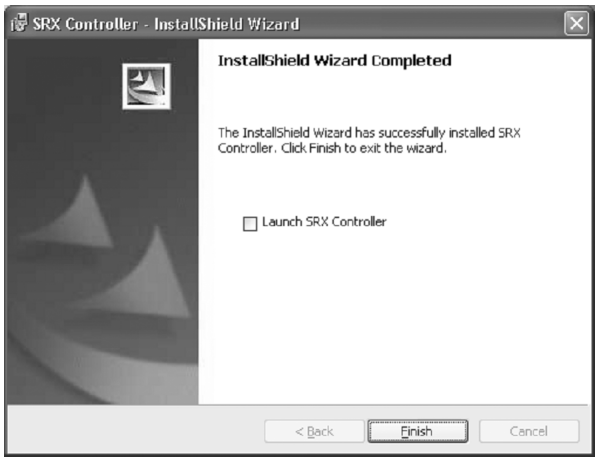

SRX Controller - InstallShield Wizard
Destination Folder
Click Next to install to this folder, or click Change to install to a different folder.
Install SRX Controller to:
C:\Program Files\Sony\SRX Controller\
Change...
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

When you want to install it in the currently displayed folder, click “Next.”
If you want to install it in a different folder, click “Change…,” specify the folder, click “OK,” then click “Next.”
The installation start window appears.


SRX Controller - InstallShield Wizard
Ready to Install the Program
The wizard is ready to begin installation.
Click Install to begin the installation.
If you want to review or change any of your installation settings, click Back. Click Cancel to exit the wizard.
InstallShield
< Back
Install
Cancel

4 Click “Install.”

The program installation starts.
After a while, the following window appears.


SRX Controller - InstallShield Wizard
InstallShield Wizard Completed
The InstallShield Wizard has successfully installed SRX Controller. Click Finish to exit the wizard.
Launch SRX Controller
< Back
Finish
Cancel

5 Click “Finish.”

Installation of the SRX Controller is completed.
To restart the SRX Controller immediately after installation has been completed, click to check “Launch SRX Controller,” then click “Finish.”

The icon is displayed in the desktop window.

Connecting a Computer for Controlling the Projector

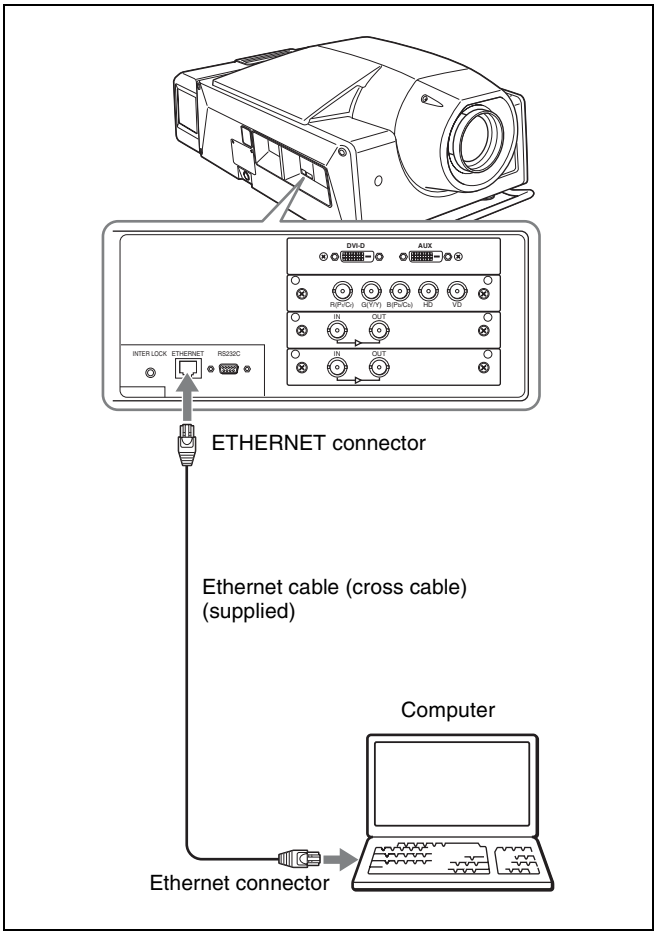
Connect a computer for controlling the projector to the projector via the ETHERNET connector or the RS232C connector.

Connecting the Computer via the Ethernet

Connect the computer to the projector using the supplied ethernet cable (cross cable).

Note

Set the TCP/IP protocol of the connected computer to DHCP.



CAUTION

For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port.
Follow the instructions for this port.

ATTENTION

Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port.
Suivez les instructions pour ce port.

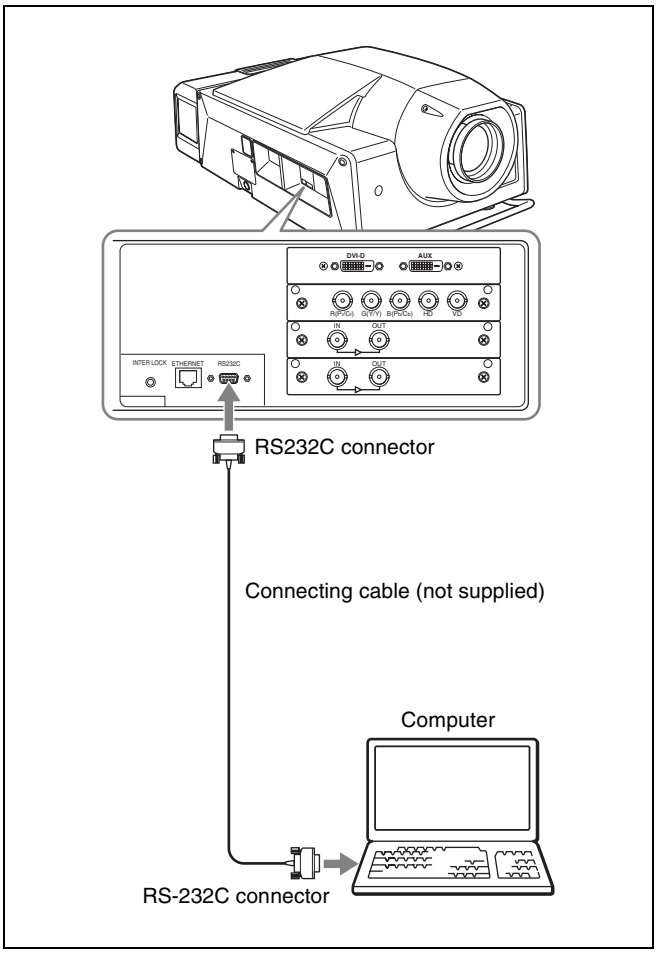
ACHTUNG

Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte.
Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse.

Note

If the power of the projector remains on for a long period of time without the Ethernet cable connected, the message “Sony SR Projector Initializing…” may appear in the STATUS MESSAGE window while you are setting up for networking after connecting the Ethernet cable. This is not a malfunction of the projector.

Connecting the Computer via the RS-232C



Starting the SRX Controller

Starting the SRX Controller

Double-click the icon for the SRX Controller in the desktop window of the computer.
The SRX Controller starts and the Browser Screen is displayed.

Note when starting the SRX Controller

When the Operating System of the computer is Windows XP SP2 or later, or any commercially available firewall software is installed in your computer, the following may occur. In these cases, unblock the Windows firewall following the procedures below.

For Windows XP SP2 or later

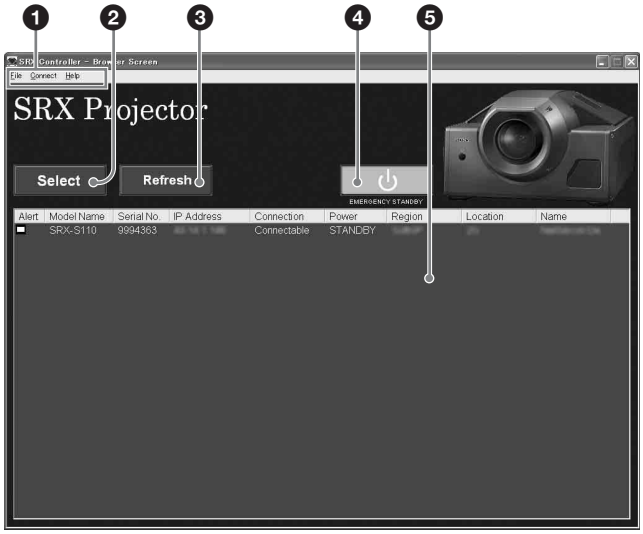
If the dialog shown below appears when the SRX Controller is started, select “Unblock.” When the dialog does not appear but the computer does not access the projector, start “Windows Firewall” from “Control Panel,” and then add “SRX Controller” to the list in the “Exceptions” tab.

Windows Security Alert
To help protect your computer, Windows Firewall has blocked some features of this program.
Do you want to keep blocking this program?
Name: SRX Controller
Publisher: SONY Corporation
Keep Blocking
Unblock
Ask Me Later
Windows Firewall has blocked this program from accepting connections from the Internet or a network. If you recognize the program or trust the publisher, you can unblock it. When should I unblock a program?

For commercially available firewall software

Add “SRX Controller” to the Exceptions list, referring to the operating instructions supplied with the software.

About the Browser Screen



❶ Menu bar

File
Select “Quit” from the File menu to exit the SRX Controller.

Connect
Selects the connection mode between the projector and the computer for controlling the projector.

For details, see “Changing the Connection Mode” on page 60.

Help
Select “Version” from the Help menu to display the version information of the SRX Controller.

❷ Select button
Selecting the projector displayed in the projector detect window and then clicking this button opens the Control Function Menu window of the selected projector.

❸ Refresh button
Updates all of information on the projectors displayed in the projector detect window.

❹ EMERGENCY STANDBY ⏻ button
Clicking the button makes the projectors indicated by “Connectable” under “Connection” in the projector detect window enter standby mode. The fans continue to run.

❺ Projector detect window
Information on all of the projectors connected to a network is displayed.
The following information is shown:
Alert: Shows whether there is any warning information on the projector or not. (■: Yes, □: No)
Model Name: Model name of the projector
Serial No.: Serial number of the projector
IP Address: IP address of the projector
Connection: Network connection status of the projector
The projectors that can be selected with the Select button are indicated by “Connectable” under “Connection.”
Power: Power on/off status of the projector
Region: Region where the projector is installed
Location: Installation location of the projector
Name: Free name

To exit the SRX Controller

Click “Quit” from the File menu on the menu bar.

Changing the Connection Mode

When the projector you want to operate is connected to the computer via a network, you can also select it by specifying the IP address of the projector. Connection via the RS-232C is also available.

When connecting the computer via a network by specifying the IP address of the projector

Select “Ethernet” from the Connect menu on the menu bar to open the dialog. Enter the IP address of the projector, then click “OK.”
To change the port number, select “PC Port Setting” from the Connect menu on the menu bar to display the dialog. Enter the new port number in the dialog and click “OK.”

When connecting the computer via RS-232C

Select “RS232C” from the Connect menu on the menu bar to open the dialog. Enter the port number of the COM port (RS-232C) for the computer, then click “OK.”

Connecting the Projector

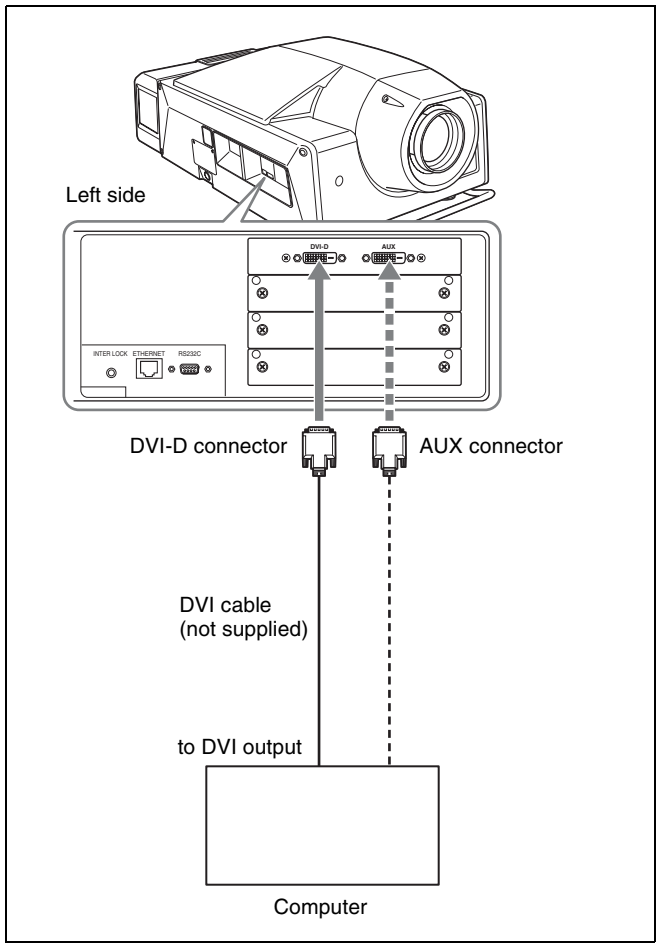
When you connect the projector, make sure to:

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly; loose connections may increase noise and reduce performance of picture signals. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.
- When installing the optional input board, consult your Sony dealer.

Refer also to the instruction manuals of the equipment to be connected.

Connecting a Computer Equipped With a DVI Connector

Connect a computer equipped with a DVI connector to the DVI-D connectors on INPUT A of the projector, or those on the optional LKRI-004 interface board attached to the input board attachment part. A progressive DVI signal can be input.
The illustration below shows an example in which the connection is made using INPUT A on the projector.

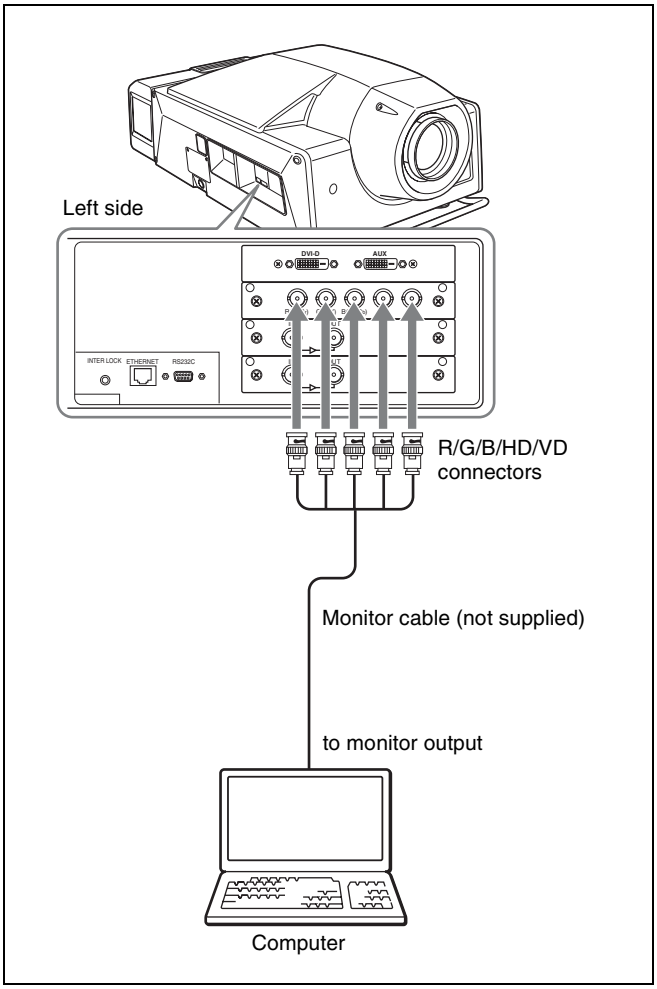


Notes

- According to the input signal type, set “Signal Mode” on “Input Source” in the PICTURE CONTROL window of the SRX Controller. *(page 69)*
- When an extension cable is used, the signal may not be input correctly due to signal reduction.
- If you input 10-bit signals from a DVI-D connector only (10-bit single mode), a DVI cable compatible with the Dual-link is required.

Connecting with a Computer Equipped With an Analog RGB Output

Attach the optional LKRI-001 analog input board to the input board attachment part on the projector, and connect with a computer.



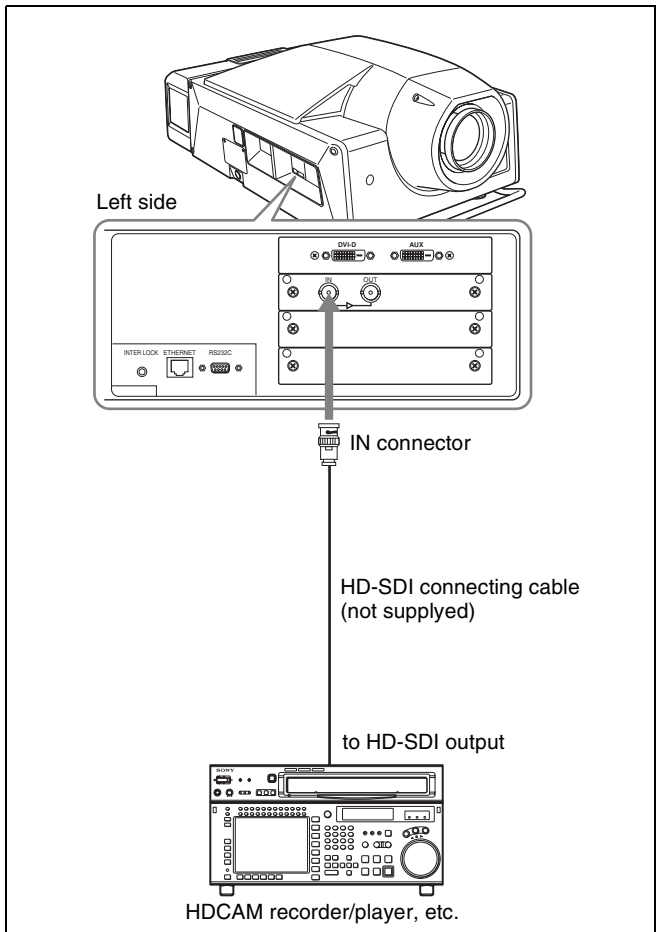
Note

Select “RGB” in “Signal Mode” of “Input Source” in the PICTURE CONTROL window.

For details, see page 69.

Connecting with HD-SDI Equipment

Attach the optional LKRI-002 HD-SDI (4:2:2) or LKRI-003 HD-SDI (4:4:4) input board to the input board attachment part, and connect the HDCAM recorder/player. The illustration below shows an example with the LKRI-002 attached on INPUT B.



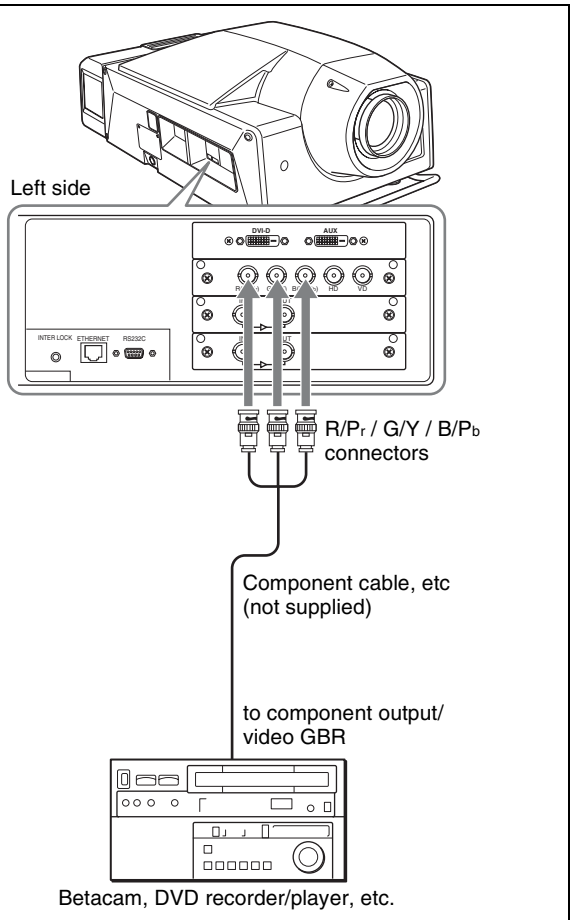
Note

When the LKRI-003 is attached to the projector, select the type of signal with “Signal Mode” of “Input Source” in the PICTURE CONTROL window. For Single-link input, select “YPbPr” or “YPbPr FULL.” For Dual-link input, select “RGB” or “RGB FULL.”

For details, see page 69.

Connecting with Component/Video GBR Equipment

Attach the optional LKRI-001 analog input board to the input board attachment part on the projector, and connect with a DVD recorder/player or analog video equipment equipped with the component output, or an high-definition equipment equipped with a video GBR connector.



Note

When connecting to the output of HD component equipment, set “Signal Mode” of “Input Source” in the PICTURE CONTROL window to “YPbPr,” and when connecting to the output of HD video GBR equipment, set to “RGB.”

For details, see page 69.

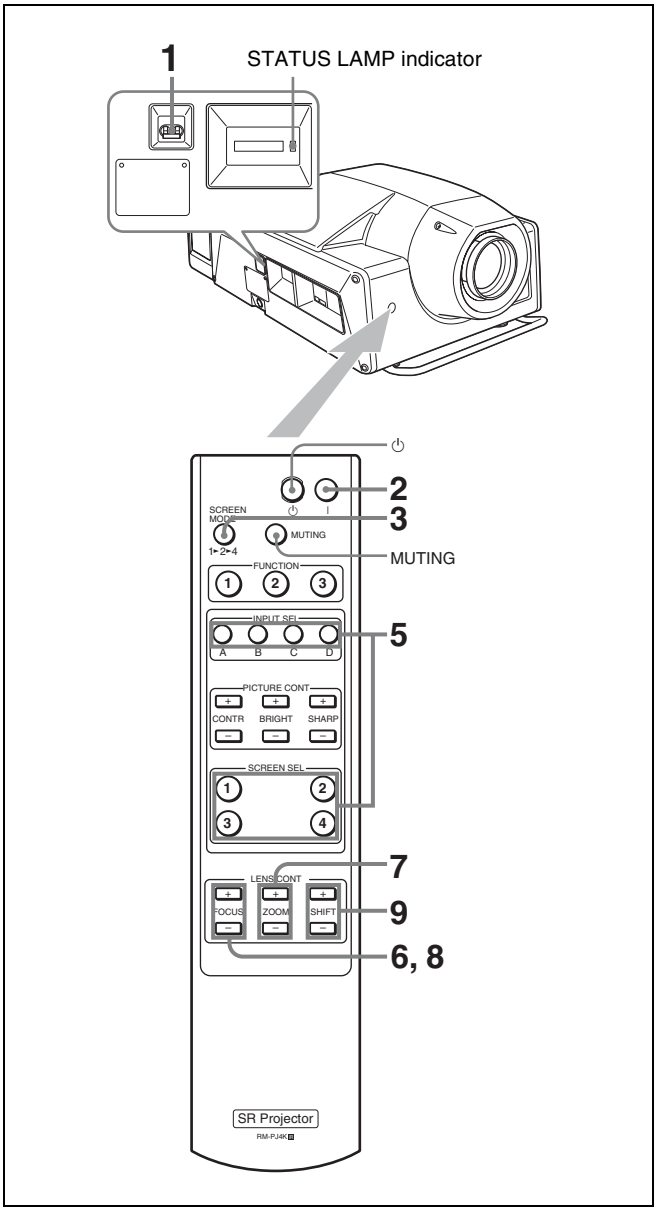
Projecting

Chapter 3

Projecting the Picture

Use the supplied Remote Commander or a computer in which the supplied SRX Controller is installed to project the picture on the screen.

Using the Remote Commander



1 Set the main power switch on the left side of the projector to the upper position.

The STATUS LAMP indicator lights red and the projector goes into standby mode.

2 Press the **I** button to turn on the projector.

The STATUS LAMP indicator lights green.

3 Select the screen mode.

Each time you press the SCREEN MODE button, the screen mode switches as follows:

1 (single-screen mode): Projects an image in full screen.

2 (dual-screen mode): Projects images in two divided screens. You can also project a different input source in each of the two screens.

4 (quad-screen mode): Projects images in four divided screens. You can also project a different input source in each of the four screens.

4 Turn on the equipment connected to the projector.

5 Press the INPUT SEL button to select the input source.

A: to select the input source from the equipment connected to INPUT A.

B: to select the input source from the equipment connected to the optional input board attached to the INPUT B section.

C: to select the input source from the equipment connected to the optional input board attached to the INPUT C section.

D: to select the input source from the equipment connected to the optional input board attached to the INPUT D section.

When you select "dual-screen mode" or "quad-screen mode" in step 3

Press one of the INPUT SEL A to D buttons to select the input source you want to project, then select one of the divided screens where you want to project the picture with the SCREEN SEL button.

Note

When projecting moving pictures in multiple screens, all the input signals should be genlocked to synchronize with each other. A picture on the left screen for dual-screen mode or that on the upper left screen for quad-screen mode is regarded as a reference picture. The projected moving picture not synchronized with the reference picture appears incompatible with the moving pictures projected on other screens. If you project still pictures and moving pictures together, select the left screen for the moving picture in dual-screen mode or the upper left screen in quad-screen mode. If you project still pictures only, you may project them on any screen.

6 Adjust the focus with the FOCUS +/– buttons.

During adjustment, "FOCUS" appears on the screen.

7 Adjust the picture size with the ZOOM +/– buttons.

During adjustment, "ZOOM" appears on the screen.

8 Adjust the focus again with the FOCUS +/– buttons.

9 Adjust the vertical position of the picture with the SHIFT +/– buttons.

During adjustment, "SHIFT" appears on the screen.

Note

The FOCUS, ZOOM and SHIFT indications do not appear when you select "OSD OFF" in the Control Function Menu window of the computer.

To cut off the picture

Press the MUTING button.
To restore the picture, press the MUTING button again.

To turn off the power

1 Press the ⏻ button.

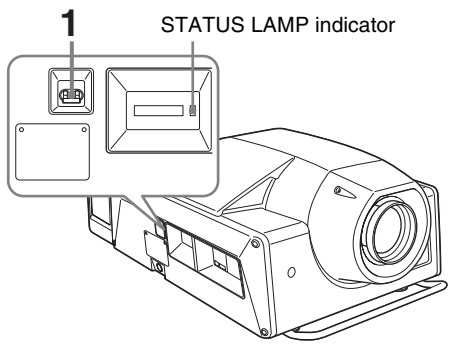
The STATUS LAMP indicator flashes green and the fan continues to run for 10 minutes to reduce the internal heat. When the fan stops running, the STATUS LAMP indicator lights red.

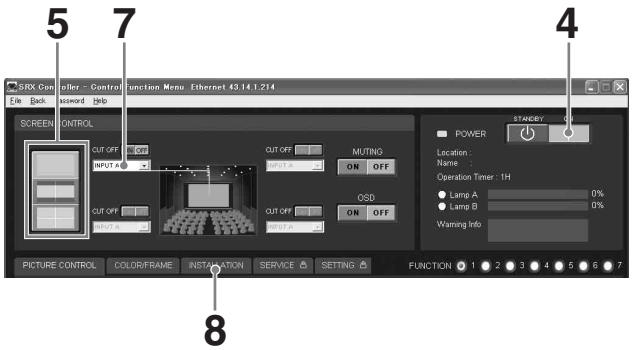
2 Set the main power switch to the lower position.

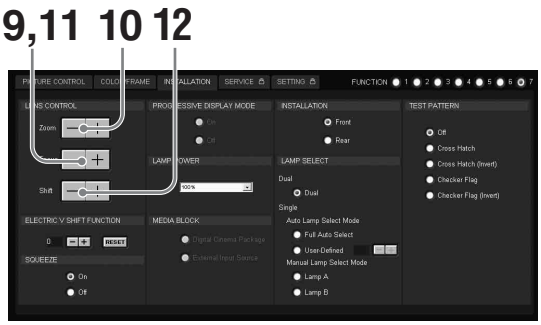
Note

Do not set the main power switch to the lower position while the fan is running. Doing so stops the fan before the inside of the projector has been cooled down sufficiently and may damage the unit.

Using the Computer for Controlling the Projector







1 Set the main power switch on the left side of the projector to the upper position.

The POWER and STATUS LAMP indicators light red and the projector goes into standby mode.

2 Start your computer and double-click the icon of the SRX Controller in the desktop window.

The Browser Screen of the SRX Controller opens.

3 Select the projector you want to operate by double-clicking the projector or by pointing at it and clicking the Select button.

The Control Function Menu window opens.

Note

When you connect the projectors to the computer via a network, you can also select the projector you want to operate by specifying the IP address of the projector. If connection is made via the RS232C connector on the projector, specify the RS-232C port number of the computer.

For details, see "Changing the Connection Mode" on page 60.

4 Click the POWER ON I button to turn on the projector.

The POWER and STATUS LAMP indicators light green.

5 Click one of the following buttons to select the screen mode.

(single screen mode): Projects images in full screen.
(dual screen mode): Projects images in two divided screens. You can also project a different input source in each of the two screens.
(quad screen mode): Projects images in four divided screens. You can also project a different input source in each of the four screens.

6 Turn on the equipment connected to the projector.

7 Select the input source from the drop-down list box displayed by clicking .

INPUT A: to select the input source from the equipment connected to INPUT A.
INPUT B: to select the input source from the equipment connected to the optional input board attached to the INPUT B section.
INPUT C: to select the input source from the equipment connected to the optional input board attached to the INPUT C section.
INPUT D: to select the input source from the equipment connected to the optional input board attached to the INPUT D section.

Note

When you select the input from the connectors on INPUT A on the projector, or on the LKRI-001, LKRI-003 or LKRI-004 input board, select the appropriate input signal from “Signal Mode” of “Input Source” in the PICTURE CONTROL window. Improper setting may cause deterioration of the picture.

For details, see page 69.

When you select “dual-screen mode” or “quad-screen mode” in step 5

Select the input source for each screen from the corresponding drop-down list box.

Notes

- When projecting moving pictures in multiple screens, all the input signals should be genlocked to synchronize with each other. A picture on the left screen for dual-screen mode or that on the upper left screen for quad-screen mode is regarded as a reference picture. The projected moving picture not synchronized with the reference picture appears incompatible with the moving pictures projected on other screens. If you project still pictures and moving pictures together, select the left screen for the moving picture in dual-screen mode or the upper left screen in quad-screen mode. If you project still pictures only, you may project them on any screen.
- When projecting signals with vertical frequency of more than 1080 pixel such as UXGA and WUXGA in quad-screen mode, a part of the displayed image may be invisible.

8 Click the “INSTALLATION” button to open the INSTALLATION window.

9 Adjust the focus with the Focus +/– buttons.

During adjustment, “FOCUS” appears on the screen.

10 Adjust the picture size with the Zoom +/– buttons.

During adjustment, “ZOOM” appears on the screen.

11 Adjust the focus again with the Focus +/– buttons.

12 Adjust the vertical position of the picture with the Shift +/– buttons.

During adjustment, “SHIFT” appears on the screen.

Note

The FOCUS, ZOOM and SHIFT indications do not appear when you select “OSD OFF” in the SCREEN CONTROL window.

To cut off the picture

Click “ON” of the CUT OFF buttons.
When you select the dual-screen mode or quad-screen mode, you can cut off the picture of each screen independently. Click “ON” of the CUT OFF buttons of each screen.
To restore the picture, click “OFF” of the CUT OFF buttons.

To cut off the whole screen

Click the MUTING ON button. The whole screen appears in black. To restore the picture, click the MUTING OFF button.

To turn off the power

1 Click the POWER STANDBY ⏻ button, then the OK button in the displayed confirmation dialog.

The POWER and STATUS LAMP indicators flash green and the fan continues to run for 10 minutes to reduce the internal heat. When the fan stops running, the POWER and STATUS LAMP indicators light red.

2 Set the main power switch to the lower position.

Note

Do not switch the main power switch to the lower (off) position while the fan is running. Doing so stops the fan before the inside of the projector has been cooled down sufficiently and may damage the unit.

Adjustments and Settings Using the SRX Controller

Chapter 4

Displaying the Control Function Menu Window

When you install the supplied SRX Controller in a computer, you can operate the picture adjustments, input signal settings, installation settings, etc. from the computer.

Some of the picture adjustments are available using the supplied Remote Commander.

For details, see "Remote Commander" on page 52.

1 Double-click the icon of the SRX Controller in the desktop window of the computer.

The Browser Screen appears.

2 Select the projector you want to operate by double-clicking the projector or click the Select button.

The Control Function Menu window opens.

3 Click any of the PICTURE CONTROL, COLOR/FRAME and INSTALLATION buttons to display the desired control window.

For details on each setting window, see the relevant window pages.

To go back to the Browser Screen

Select "Back" on the menu bar.

To clear the Control Function Menu window

Select "Quit" from the File menu on the menu bar, or click the (close) button.

To reset the settings that have been adjusted

Clicking the RESET button in the PICTURE CONTROL window resets all the settings of the items for "Signal Adjust" to their factory preset values. To reset the settings of the items for "Frame Adjust" in the COLOR/FRAME window, click the RESET button in the COLOR/FRAME window.

To register the settings that have been adjusted

You can register the settings that have been adjusted in the control windows to FUNCTION 1 to 7. As the default setting, the settings are registered to FUNCTION 1. To register the settings to FUNCTION 2 to 7, click one of the FUNCTION 2 to 7 radio buttons, then adjust the items in each window.
You can recall it later to project the picture with the desired setting by clicking one of the FUNCTION radio buttons. You can also recall the settings registered to the FUNCTION 1, 2 or 3 button with the FUNCTION 1, 2 or 3 button on the Remote Commander.

Note

When you click the FUNCTION button to switch to another FUNCTION setting, the picture will be cut off for up to about 10 seconds. The picture with the selected FUNCTION setting will then appear on the screen.

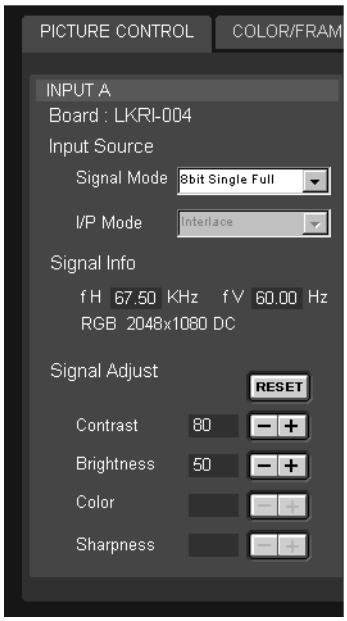
About the items that cannot be adjusted

Items that cannot be adjusted depending on the input signal are not displayed in the window.

For details, see "Input Signals And Adjustable/Setting Items" on page 74.

PICTURE CONTROL Window

The PICTURE CONTROL window is used to select the input source or to adjust the picture quality.
When the screen mode is set to "dual screen" or "quad screen," the items can be independently adjusted for each input channel displayed on the screen.



Board

Shows the input board installed in the relative input board slot of the projector. If you select INPUT A, "LKRI-004" is always displayed.

Input Source

Signal Mode: Click ▼ to open the drop-down list to select the type of signal input from equipment connected to INPUT A of the projector or to the optional input board.

When a signal is input from INPUT A or when the LKRI-004 is installed

Select the input signal type of progressive DVI signals.
When used in normal, select "8bit Single Full," which is compatible with DVI1.0 standard and the signal level is Full Range compliance.
When the DTV signal is input, select "8bit Single Limited," which is compatible with DVI1.0 standard and the signal level is Limited Range compliance.

When the 10-bit signal based on Sony's unique specification is input, select "10bit Twin Full" or "10bit Single Full" for a signal of Full Range compliance, or "10bit Twin Limited" or "10bit Single Limited" for a signal of Limited Range compliance.

When the LKRI-001 is installed
Select "YPbPr" to input a high-definition signal from component equipment, and "RGB" to input a high-definition signal from video GBR equipment.

When the LKRI-003 is installed
For Dual-link input, select "RGB" or "RGB FULL." For Single-link input, select "YPbPr" or "YPbPr FULL."

When "RGB" or "YPbPr" is selected, in the case that a 10-bit HD-SDI signal is input and "Contrast" is set to 90 in "Signal Adjust" of the PICTURE CONTROL window, mapping is done so that HD-SDI signal data values* of 64 to 940 are converted to the video levels of 0 to 100% to display an image on the projector.

When "RGB FULL" or "YPbPr FULL" is selected, in the case that a 10-bit HD-SDI signal is input and "Contrast" is set to 90 in "Signal Adjust" of the PICTURE CONTROL window, mapping is done so that HD-SDI signal data values* of 0 to 1023 are converted to the video levels of 0 to 100% to display an image on the projector. In this case, inhibition codes included in a 10-bit HD-SDI signal (data area 0 to 3, and 1020 to 1023) are blocked out.

* Data value 64 of a 10-bit HD-SDI signal input is equivalent to the video level of 0% (white), and data value 940 equivalent to 100% (black).

I/P Mode: Selects the I/P conversion mode. Depending on the input signal source, set the mode to "Interlace" or "PsF."

Notes

- This item is available with the interlace or PsF signal input.
- When the signal is input from INPUT A or the LKRI-004 is installed, this item is not available.

Signal Info (Information)

Shows the horizontal and vertical frequencies of the input signal automatically. The values are approximate.
The type of the input signal is also displayed.

fH: Displays the horizontal frequency.
fV: Displays the vertical frequency.

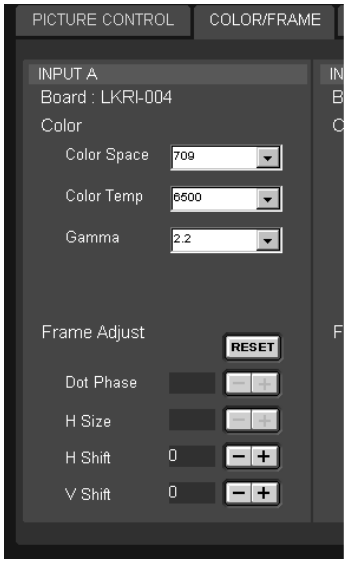
Signal Adjust

Adjusts the picture quality of the input signal.
Clicking [+] increases the setting value, and [−] decreases it.
Clicking the RESET button resets all the settings to the factory preset values.

Contrast: Adjusts the picture contrast. The higher the setting, the greater the contrast.
Brightness: Adjusts the picture brightness. The higher the setting, the brighter the picture.
Color: Adjusts the color intensity. The higher the setting, the greater the intensity.
Sharpness: Adjusts the picture sharpness. The higher the setting, the sharper the picture. The lower the setting, the softer the picture.

COLOR/FRAME Window

The COLOR/FRAME window is used to adjust the input signal.
When the screen mode is set to “dual-screen” or “quad-screen,” the items can be independently adjusted for each input channel displayed on the screen.



Board

Shows the input board installed in the relative input board slot of the projector. If you select INPUT A, “LKRI-004” is always displayed.

Color

Adjusts the items so that you can obtain precise color reproduction.
If the color of an image is not correct, check the setting of “Color Space” first.
Select the setting from the drop-down list displayed by clicking .

Color Space: Selects the color gamut.
- **709:** Select when projecting a normal high-definition signal or RGB signal.
- **DCDM:** Select when projecting a signal source using the Minimum D-Cinema Color Gamut defined by the DCI Specifications Book/Version 1.0.
- **CIEXYZ:** Select when projecting a special signal source with wider color gamut than that of “DCDM,” such as a 12-bit XYZ signal.

Color Temp (temperature): Selects the color temperature from among “DCI W/P,” “6500,” “CUSTOM1,” “CUSTOM2,” “CUSTOM3” and “CUSTOM4.” “DCI W/P” is preset in CUSTOM1 to 4 settings in the factory.
“6500” is recommended for a normal high-definition signal or RGB signal. Set this item to “DCI W/P” to project a movie source.

Gamma: Selects a gamma correction curve from among “2.6,” “2.2” and “1.8.”
The smaller the value, the brighter the image. Select the setting depending on the signal source. “2.2” is recommended to project a normal high-definition signal or RGB signal.

When a signal is input from the connector on INPUT A or the LKRI-004 interface board

When you set each item in “Color,” the setting will be written to the color space description area of the EDID ROM.
The values to be written to the EDID ROM are shown below.

Color Space settings
- **“709”:** Red (0.6400, 0.3300), Green (0.3000, 0.6000), Blue (0.1500, 0.0600)
- **“DCDM”:** Red (0.6800, 0.3200), Green (0.2650, 0.6900), Blue (0.1500, 0.0600)

Color Temp settings
- **“6500”:** White (0.3127, 0.3290)
- **“DCI W/P”:** White (0.3140, 0.3510)
- **“CUSTOM1” to “CUSTOM4”:** White (0.3140, 0.3510) (default values)

Gamma settings
- **“2.6”:** 2.6
- **“2.2”:** 2.2
- **“1.8”:** 1.8

Frame Adjust

Adjusts the horizontal size and the position of the picture.
Clicking + increases the setting value, and − decreases it.
Clicking the RESET button resets all the settings of “Frame Adjust” to the factory-preset values.

Dot Phase: Adjusts the phase of the SXRD panels and the input signal. Adjusts the value to obtain the clearest picture.

H Size: Adjusts the horizontal size of the picture according to the input signal. As the setting value increases, the horizontal size of the picture becomes larger.

H Shift: Adjusts the horizontal position of the picture. As the setting value increases, the picture moves to the right. As the value decreases, the picture moves to the left.

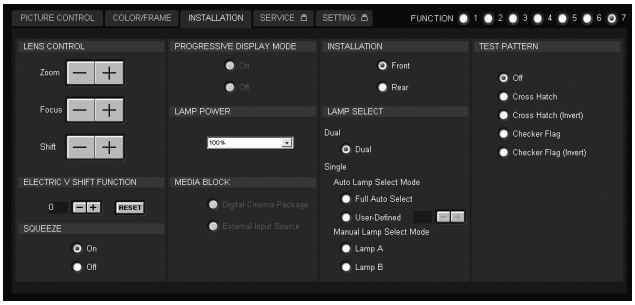
V Shift: Adjusts the vertical position of the picture. As the setting value increases, the picture moves up. As the value decreases, the picture moves down.

Notes

- Adjustment of “Dot Phase” and “H Size” is available only for analog RGB signals input from a computer.
- If the position of the picture is not adjusted correctly, noise may appear in the blank portion of the screen. This is not a malfunction of the projector. Adjust the picture position correctly with “Frame Adjust.”

INSTALLATION Window

The INSTALLATION window is used to adjust the projected picture, change the lamp output, etc.



LENS CONTROL

Adjusts the projected picture on the screen.

Zoom +/–: Adjusts the size of the picture. Clicking [+] enlarges the picture size, and [–] reduces the picture size.

Focus +/–: Adjusts the picture focus. Clicking [+] focuses on a picture further back. Clicking [–] focuses on a forward picture.

Shift +/–: Adjusts the vertical position of the picture. Clicking [+] moves the picture upward. Clicking [–] moves it downward.

ELECTRIC V SHIFT FUNCTION

Adjusts the vertical position of the projected pictures electrically. As the setting value increases, the picture moves upward. As the setting value decreases, the picture moves downward.
Clicking the RESET button resets the setting to the factory-preset values.

Notes

- This function is effective in the following cases:
  - When single-screen mode is selected
  - When quad-screen mode is selected, in which a signal from INPUT A is projected on the upper left window, that from INPUT B on the upper right window, that from INPUT C on the lower left window and that from INPUT D on the lower right window, when the input signal frequencies are 24/23.98 Hz and when “PROGRESSIVE DISPLAY MODE” is set to “On”.
- When this function is used for quad-screen mode, all the projected signals should be genlocked to synchronize with each other. If they are not synchronized, the picture is not displayed correctly.

SQUEEZE

This function allows the input signal to be displayed on the screen in a converted aspect ratio.
When you click the On radio button, the following input signals can be displayed on the screen by horizontal stretching.

- Video 50 Hz or Video 59.94 Hz signal with a 4:3 aspect ratio: Stretched to a 16:9 aspect ratio.
- 720p, 1920 × 1080 or 2048 × 1080 signal with a 16:9 aspect ratio: Stretched to a 2.39:1 aspect ratio.

When you click the Off radio button, the input signal is displayed without converting the aspect ratio.

Note

This function is available only for projection in single-screen mode.

PROGRESSIVE DISPLAY MODE

Normally, click the Off radio button.
Click the On radio button when four images with 2048 (1920) × 1080 pixels are input from INPUT A and three LKRI-004 interface boards and are combined into a 4096 (3840) × 2160-pixel image on the screen in quad-screen mode.

LAMP POWER

Adjust the lamp power output.
Select it from the drop-down list displayed by clicking .
You can reduce the lamp power to 93%, 86%, 79%, 72%, 65%, 58% or 51%. The brightness of the projected image will be darker, but power consumption can be reduced and this increases the lamp life. Selecting 100% allows you to obtain the brightest projection image.

Note

Switching the lamp output frequently may reduce the lamp life. Use of the defined lamp output is recommended.

INSTALLATION

Selects how to install the projector.

Front: Selects front projection.
Rear: Selects rear projection.

Note

When you click the radio button to switch to the other setting, the picture will be cut off for up to about 10 seconds, and the picture will then appear on the screen.

LAMP SELECT

Selects whether to use one of two lamps or both lamps.

Dual: Select if you want to use two lamps.
Single: Select if you want to use only one of two lamps. In this setting, you can further select the lamp to be used automatically or manually.

Auto Lamp Select Mode
When you click the Full Auto Select radio button, the lamp with fewer used hours is automatically turned on. When you use the projector for a long period of time, click the User-Defined radio button. If you specify the hour between 4 and 24 hours by clicking the + / − buttons, the two lamps turn on alternately at the interval of the specified hours.

Manual Lamp Select Mode
You can specify the lamp to be used by clicking the Lamp A or Lamp B radio button.

Note

If you switch “LAMP SELECT” from “Single” to “Dual” or when either Lamp A or Lamp B switches to turn on, the projected image will be cut off momentarily.

TEST PATTERN

Displays a built-in test pattern on the screen for adjusting the picture with no signal input from external equipment. Click the radio button of the desired test pattern from among “Cross Hatch,” “Cross Hatch (Invert),” “Checker Flag” and “Checker Flag (Invert).” When you do not display a built-in test pattern, click the “Off” radio button.

Note

While a built-in test pattern is displayed on the screen, you cannot change the screen mode and input select mode, and cannot adjust the “PICTURE CONTROL” and “COLOR/FRAME.”

Input Signals And Adjustable/Setting Items

Some items of “Signal Adjust” in the PICTURE CONTROL window and “Frame Adjust” in the COLOR/FRAME window are not adjusted or set depending on the input signals. Items that cannot be adjusted depending on the input signal are not displayed in the window.

Signal Adjust

Item	Input signal					
	Component	Video GBR	Computer	HD-SDI	DVI-D	4K
Contrast	●	●	●	●	●	●
Brightness	●	●	●	●	●	●
Color	●	–	–	●	–	–
Sharpness	●	●	●	●	–	–

●: Adjustable/can be set
–: Not adjustable/cannot be set

Frame Adjust

Item	Input signal					
	Component	Video GBR	Computer	HD-SDI	DVI-D	4K
Dot Phase	–	–	●	–	–	–
H Size	–	–	●	–	–	–
H Shift	●	●	●	●	●	–
V Shift	●	●	●	●	●	–

●: Adjustable/can be set
–: Not adjustable/cannot be set

Chapter 5 Others

Lamp Life

Recommended time for replacement of the projection lamp is as follows:
SRX-S110: Approx. 800 hours
SRX-S105: Approx. 1,000 hours
The “Lamp A” and “Lamp B” bar indicators in the Control Function Menu window become red when the time for replacement is coming near. The percentage indicates the time used before the recommended time for replacement. Use them as a guide.

Be sure to ask your Sony dealer to replace a projection lamp and lamp house.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following guide. If the problem still persists, consult your Sony dealer.

Power

Symptom	Cause	Remedy
Power is not turned on.	The main power is turned off.	Set the power switch on the projector to the upper position (pages 65 and 66).
	The projector and a computer for controlling the projector are disconnected.	Connect the projector and a computer properly (page 58).
	The cooling unit is detached.	Consult your Sony dealer.

Picture

Symptom	Cause	Remedy
No picture.	Cables are disconnected.	Check that the proper connection has been made (page 61).
	Input selection is not correct.	Select the input source correctly in the SCREEN CONTROL window (page 66).
	The picture is cut off.	Click the MUTING OFF or CUT OFF ON button in the SCREEN CONTROL window (page 67), or press the MUTING button on the Remote Commander (page 65).
	Ambient temperature is high.	Reduce the room temperature so that it becomes within the operating temperature (5–35°C).
Color balance is incorrect.	Incorrect input source mode is selected.	Set “Signal Mode” of “Input Source” in the PICTURE CONTROL window correctly (page 69).
The picture is too dark.	Contrast and brightness has not been adjusted properly.	Adjust the contrast or brightness in the PICTURE CONTROL window (page 70), or adjust them using the CONTR or BRIGHT button on the Remote Commander (page 52).
	Lamp mode is not properly selected.	Set “LAMP POWER” or “LAMP SELECT” in the INSTALLATION window correctly. (page 72)
On-screen display does not appear.	OSD OFF button has been clicked.	Click the OSD ON button in the SCREEN CONTROL window (page 52).

Remote Commander/SRX Controller

Symptom	Cause	Remedy
The SRX Controller does not start.	The projector and a computer for controlling the projector are not properly connected.	Check that the proper connection between the projector and a computer has been made (page 58).
The Remote Commander does not work.	The remote control detector has been removed.	Consult your Sony dealer.
	The batteries are dead.	Replace with new batteries.

Error Messages

The error messages are displayed in the STATUS MESSAGE window on the projector and the Error display window of the SRX Controller. If there are two or more messages, a displayed message changes each 5 seconds. Use the list below to check the meaning of the error, and consult your Sony dealer. Be sure to inform them of the displayed messages and their numbers.

No.	Error messages	Meaning
1	INPUT-A POWER ALERT	Trouble with power of INPUT A board
2	INPUT-B POWER ALERT	Trouble with power of INPUT B board
3	INPUT-C POWER ALERT	Trouble with power of INPUT C board
4	INPUT-D POWER ALERT	Trouble with power of INPUT D board
5	PR-284_1 POWER ALERT	Trouble with power of PR-284 board at the top
6	PR-284_2 POWER ALERT	Trouble with power of PR-284 board on the second row
7	PR-284_3 POWER ALERT	Trouble with power of PR-284 board on the third row
8	PR-284_4 POWER ALERT	Trouble with power of PR-284 board on the fourth row
9	24V POWER SUPPLY ALERT	The projector has failed to supply 24V power.
10	16V POWER SUPPLY ALERT	The projector has failed to supply 16V power.
11	PR-284_1 DETACHED	The PR-284 board is not attached correctly on the top row.
12	SXRD PANEL TEMPERATURE ALERT	The temperature of the panels is too high.
13	LAMP_A FAN ALERT	Trouble with the fan for Lamp A, or the harness is disconnected or down.
14	LAMP_B FAN ALERT	Trouble with the fan for Lamp B, or the harness is disconnected or down.
15	LAMP_A POWER SUPPLY UNIT FAN ALERT	Trouble with the ballast fan for Lamp A power, or the harness is disconnected or down.
16	LAMP_B POWER SUPPLY UNIT FAN ALERT	Trouble with the ballast fan for Lamp B power, or the harness is disconnected or down.
17	PR-284 FAN FAILURE	Trouble with the fan for PR-284 board, or the harness is disconnected or down.
18	OPTICAL UNIT TEMPERATURE ALERT	The temperature of the optical unit is too high, or the harness is disconnected or down.
19	LAMP_A TEMPTEMPERATURE ALERT	The temperature of Lamp A is too high, or the harness is disconnected or down.
20	LAMP_B TEMPTEMPERATURE ALERT	The temperature of Lamp B is too high, or the harness is disconnected or down.
21	LAMP_A HOUSE DETACHED	The projection lamp house of Lamp A is not installed correctly, or the harness is disconnected or down.
22	LAMP_B HOUSE DETACHED	The projection lamp house of Lamp B is not installed correctly, or the harness is disconnected or down.
23	REAR COVER DETACHED	The rear cover is open, or the harness is disconnected or down.
24	LAMP_A POWER SUPPLY UNIT ALERT	Temporary high temperature or some trouble with the power (ballast) of Lamp A
25	LAMP_B POWER SUPPLY UNIT ALERT	Temporary high temperature or some trouble with the power (ballast) of Lamp B
26	LAMP_A IGNITION FAILURE	Lamp A does not turn on.
27	LAMP_B IGNITION FAILURE	Lamp B does not turn on.
28	CPU ALERT	Trouble with the main CPU (IC301) on the SY-321. Serious trouble
29	MUTING OFF FAILURE DOUSER OPEN FAILURE	Trouble with opening/shutting of the shutter, or the harness is disconnected or down.
30	INPUT BOARD FAN FAILURE	Trouble with the HIF fan next to the INPUT A/B/C/D boards, or the harness is disconnected or down.

No.	Error messages	Meaning
31	REAR FAN ALERT	Trouble with the huge fan at the rear, or the harness is disconnected or down.
32	LOW REAL TIME CLOCK BATTERY	The RTC battery (BT201) for the SY-321 board should be replaced.
33	FPGA CONFIG FAILURE	An internal line does not function properly.
34	IIC FAILURE	An internal line does not function properly.
35	LAMP A ALERT	The recommended time for replacement of Lamp A has elapsed.
36	LAMP B ALERT	The recommended time for replacement of Lamp B has elapsed.
37	LAMP A WARNING	80% of the recommended time for replacement of Lamp A has elapsed.
38	LAMP B WARNING	80% of the recommended time for replacement of Lamp B has elapsed.
39	DATA LOAD FAILURE LENS POSITION SENSOR	Failure of the lens position adjustment to the registered setting.
40	PS FAN FAILURE	Trouble with the fan for PS converter, or the harness is disconnected or down.
41	DVI SIGNAL FAILURE	An inappropriate menu setting for the input signal has been found, or the cable has become disconnected or is down.

Specifications

Optical characteristics

Projection system
SXRD (Silicon X-tal Reflective Display) 3 panel prism color integration system

SXRD: 8,847,360 pixels (4098 × 2160 × 3)

Lens: Optional

Light output: SRX-S110: 10,000 ANSI[1)] lm ± 10% (factory preset value)
SRX-S105: 5,000 ANSI[1)] lm ± 10% (factory preset value)

Lamp: SRX-S110: 2 kW Xenon lamp (not supplied) × 2
SRX-S105: 1 kW Xenon lamp (not supplied) × 2

1) ANSI lumen is a measuring method of American National Standard IT 7.228.

Electrical characteristics

Acceptable signal
DVI-D, XGA, QVGA, SXGA, SXGA+, UXGA, HD, 2048 × 1080 (INPUT A or when the LKRI-004 DVI interface board is installed)
Component, XGA, SXGA, WXGA, HD (when the LKRI-001 analog input board is installed)
HD-SDI (SMPTE Serial Digital Interface standard) (when the LKRI-002 HD-SDI (4:2:2) input board is installed)
HD-SDI (SMPTE Serial Digital Interface standard) (when the LKRI-003 HD-SDI (4:4:4) input board is installed)

Input/Output

DVI-D: DVI connector, 24-pin (male) (For details, see "Pin assignment" on page 80.)

AUX: DVI connector, 24-pin (male) (For details, see "Pin assignment" on page 80.)

INTER LOCK: Minijack
Normal operation at short circuit
Lamp power off at open circuit

RS232C: D-sub 9-pin (female) (For details, see "Pin assignment" on page 80.)

ETHERNET: 10BASE-T/100BASE-TX

Input signal

INPUT A: DVI-D, XGA, QVGA, SXGA, SXGA+, UXGA, HD, 2048 × 1080

When the LKRI-001 is installed
Analog RGB/component: BNC type
R/R-Y: 0.7 Vp-p ±2 dB positive, 75 ohms terminated
G/G SYNC: 0.7 Vp-p ±2 dB positive, 75 ohms terminated
G with sync/Y: 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms terminated
B/B-Y: 0.7 Vp-p ±2 dB positive, 75 ohms terminated
SYNC/HD: Composite sync: 0.6 – 8 Vp-p, high impedance, sync positive/negative
Horizontal sync: 0.6 – 8 Vp-p, high impedance, sync positive/negative
VD: Vertical sync: 0.6 – 8 Vp-p, high impedance, sync positive/negative
HDTV (YP_bP_r): BNC type
Y: 1 Vp-p ± 2 dB positive, 75 ohms terminated
Tri-level sync: ± 0.3 Vp-p
Bi-level sync: 0.3 Vp-p
P_b/P_r: 0.35 Vp-p ± 2 dB positive, 75 ohms terminated
HDTV (GBR): BNC type
G with sync: 1 Vp-p ± 2 dB, 75 ohms terminated
Tri-level sync: ± 0.3 Vp-p
Bi-level sync: 0.3 Vp-p
B/R (GBR): 0.7 Vp-p ± 2 dB positive, 75 ohms terminated

When the LKRI-002 is installed
SMPTE format HD

When the LKRI-003 is installed
SMPTE Format HD-SDI/DC-SDI/Dual-link HD-SDI/Dual-link DC-SDI

When the LKRI-004 is installed
DVI-D, XGA, QVGA, SXGA, SXGA+, UXGA, HD, 2048 × 1080

General

Dimensions
740 × 500 × 1320 mm (29 1/4 × 19 3/4 × 52 inches) (w/h/d)

Mass: Approx. 110 kg (242 lb 8 oz) (excluding the optional lamps and lens)

Power requirements
SRX-S110: 200 to 240 V AC, 50/60 Hz
SRX-S105: 100 to 240 V AC, 50/60 Hz

Power consumption
SRX-S110: Max. approx. 5.4 kW (Standby mode: 40 W)
SRX-S105: Max. approx. 3.0 kW (Standby mode: 40 W)

Current consumption
SRX-S110: 30 to 22 A
SRX-S105: 30 to 12.5 A

Operating temperature
5°C to 35°C (41°F to 95°F) (About 20 minutes of aging is recommended to provide better quality picture.)
Performance guarantee temperature
10°C to 30°C (50°F to 86°F)
Operating humidity
35% to 85% (no condensation)
Storage temperature
–20°C to + 60°C (–4°F to +140°F)
Storage humidity
10% to 90%
Supplied accessories
Remote Commander RM-PJ4K (1)
Size AA (R6) batteries (2)
SRX Controller (CD-ROM) (1)
Ethernet cable (cross cable manufactured by Sony: 1-830-803-11) (1)
M8 screws for lens mounting (4)
Operating Instructions (1)
Installation Manual for Dealers (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

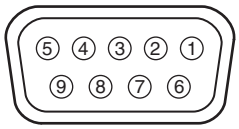
Optional accessories

Projection lamp house
LKRX-B110 (for SRX-S110)
LKRX-B105 (for SRX-S105)
Projection lamp
LKRX-110 (for SRX-S110)
LKRX-105 (for SRX-S105)
Analog input board
LKRI-001 (analog RGB/component/HD input with 5 BNC type)
HD-SDI (4:2:2) input board
LKRI-002 (HD-SDI input/output with 2 BNC type)
HD-SDI (4:4:4) input board
LKRI-003 (HD-SDI input/output with 4 BNC type)
DVI interface board
LKRI-004 (2DVI-D input connectors)
Projection lens
LKRL-Z115 (1.48 to 1.81-times zoom lens)
LKRL-Z117 (1.72 to 2.39-times zoom lens with zoom/focus memory function)
LKRL-Z119 (1.81 to 2.94-times zoom lens with zoom/focus memory function)
LKRL-Z122 (2.33 to 3.96-times zoom lens with zoom/focus memory function)
LKRL-Z140 (3.81 to 7.12-times zoom lens)
LKRL-90 (0.9-times fixed focus lens)

Note
Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Pin assignment

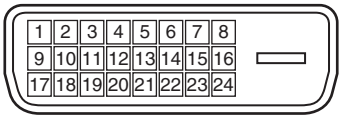
RS232C connector (D-sub 9-pin, female)



Pin number	Signal name	Meaning
1	NC	
2	RD	Received Data
3	TD	Transmit Data
4	DTR*	Data Terminal Ready
5	GND	Ground
6	DSR*	Data Set Ready
7	RTS**	Request to Send
8	CTS**	Clear to send
9	NC	

* Circuit between pins 4 and 6 is short-circuited in the projector.
** Circuit between pins 7 and 8 is short-circuited in the projector.

DVI-D connector, AUX connector (24-pin, male)



Pin number	Signal name
1	DATA2–
2	DATA2+
3	GND
4	DATA4–
5	DATA4+

Pin number	Signal name
6	DDC_SCL
7	DDC_SDA
8	NC
9	DATA1–
10	DATA1+
11	GND
12	DATA3–
13	DATA3+
14	+5V
15	DDC_GND
16	HOTPLUG_DET
17	DATA0–
18	DATA0+
19	GND
20	DATA5–
21	DATA5+
22	GND
23	CLK+
24	CLK–

Preset Signals

Preset signal	fH (kHz)	fV (Hz)	Aspect ratio
VIDEO60	15.73	59.94	4:3
VIDEO50	15.63	50.00	4:3
HDTV	33.75	60.00	16:9
1024 × 768_VESA60	48.36	60.00	4:3
1024 × 768_VESA70	56.48	70.07	4:3
1024 × 768_VESA75	60.02	75.03	4:3
1024 × 768_VESA85	68.68	85.00	4:3
1280 × 960_VESA60	60.00	60.00	4:3
1280 × 1024_VESA60	63.97	60.01	5:4
1280 × 1024_VESA75	79.98	75.03	5:4
1280 × 1024_VESA85	91.15	85.02	5:4
1600 × 1200_VESA605	75.00	60.00	4:3
720/60P	45.00	60.00	16:9
720/50P	37.50	50.00	16:9
1080/48I (24PsF)	27.00	48.00	16:9
1080/50I	28.13	50.00	16:9
1080_24P	27.00	24.00	16:9
DC2048 × 1080_48I	27.00	48.00	
DC2048 × 1080_24P	27.00	24.00	
1400 × 1050_60p	65.30	60.00	4:3
1920 × 1080_60p	67.50	60.00	16:9
1920 × 1200_60p	74.038	60.00	
2048 × 1080_48p	54.00	48.00	
2048 × 1080_60p	67.50	60.00	

Displayed image size in multiple screen mode

Unit: pixel

Screen mode / Type of signal	Full screen		Dual screen		Quad screen	
	Horizontal size	Vertical size	Horizontal size	Vertical size	Horizontal size	Vertical size
VIDEO60	2880	2156	2003	1499	1440	1078
VIDEO50	2880	2146	2003	1504	1440	1073
XGA	2849	2137	2048	1536	1432	1074
SXGA1	2560	2048	2048	1638	1280	1024
SXGA2	2560	1920	2048	1536	1280	960
SXGA+	2800	2100	1400	1050	1400	1050
UXGA*	2864	2148	1600	1200	–	–
WUXGA*	3437	2148	1920	1200	–	–
720p	3810	2143	2048	1152	1280	720
HD	3840	2160	1920	1080	1920	1080
2K	4096	2160	2048	1080	2048	1080
4K	4096	2160	–	–	–	–

* When projecting signals with vertical frequency of more than 1080 pixel such as UXGA and WUXGA in quad-screen mode, a part of the displayed image may be invisible.

Index

A

Adjusters 55
Adjusting
  focus 72
  lens shift 72
  picture 52, 70
  zoom 72

B

Battery
  installation 53
  notes 53
Board 69, 71

C

Carrying handles 55
Color 71
Color Space 71
Color Temp 71
COLOR/FRAME window 71
Connection mode 60
Connections
  component/video GBR equipment 62
  computer equipped with an analog RGB output 62
  computer equipped with the DVI connector 61
  computer for controlling the projector 58
  HD-SDI equipment 62
Control Function Menu window
  Displaying 68
  Location and function of controls 50
Cut off the picture 65, 67

D

Dot Phase 71

E

ELECTRIC V SHIFT FUNCTION 72
Error messages 77
ETHERNET connector 58

F

Focus 65, 72
Frame Adjust 71
FUNCTION 1-7 68

G

Gamma 71

H

H Shift 71
H Size 71

I

I/P Mode 70
Input Source 69
INSTALLATION 73
INSTALLATION window 72
Installing the projector 56

L

Lamp Life 75
LAMP POWER 73
LAMP SELECT 73
LENS CONTROL 72
Location and Function of Controls
  Control Function Menu window 50
  Front/Top 49
  Left Side/Rear 49
  Remote Commander 52

O

Optional accessories 80

P

PICTURE CONTROL window 69
Precautions 46
Precautions on installation 54
PROGRESSIVE DISPLAY MODE 73
Projecting
  Using the computer for controlling the projector 66
  Using the Remote Commander 64

R

Registering the settings 68
Remote Commander
  Battery installation 53
  Location and Function of Controls 52
Resetting the settings 68
RS-232C 59

S

SCREEN CONTROL window 51
Screen mode 65, 66
Shift 65, 72
Signal Adjust 70
Signal Info 70
Specifications 79
SQUEEZE 73
SRX Controller
  Browser Screen 60
  installing 56
  starting 59
STATUS MESSAGE window 77
Supplied accessories 80

T

TEST PATTERN 73
Troubleshooting 76

V

V Shift 72

Z

Zoom 65, 72